

森町病院事業 第2次経営改革プラン

～地域に必要な医療を提供するために～

《改訂版》

平成26年3月

森 町

『森町病院事業第2次経営改革プラン』目次

I 改革プラン策定について	1
1. 趣旨	
2. 改革プランの基本方針	
3. 改革プランの構成	
4. 改革プランの計画期間	
II 森町病院事業を取巻く状況	2
1. 国の医療の考え方	
2. 静岡県、中東遠医療圏の医療供給体制	
3. 中東遠医療圏の受療状況	
4. 森町の状況	
5. 外部環境の将来予想	
6. 森町病院事業の内部環境	
III 改革プランの方向性	29
1. 森町病院事業の果たすべき役割	
2. 一般会計負担の基本的な考え方	
IV 経営改革の取り組み	31
1. 機能面	
2. 組織面	
3. 運営面	
4. 人材面	
V 事業計画	33
1. 主要施策	
2. 設備投資計画	
3. 常勤職員数管理	
4. 医療機能指標	
5. 経営指標	
6. 財務計画	
VI 実施状況の点検・評価・公表	37
1. 改革プランの点検・評価	
2. 改革プランの公表	
資料	
※資料1～13	38

I. 改革プラン策定について

1. 趣旨

公立森町病院は、町民誰もが健やかに暮らせるよう、地域に必要な医療を提供することに努めてきた。しかし、平成14年度以降の診療報酬のマイナス改定は医業収益の減少を招き、また、新臨床研修医制度に起因した医師不足は深刻で、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科の非常勤化により、入院患者が減少するなど、病院経営及び医療提供体制の維持が極めて厳しい状況になっていた。

そのため、平成19年度に総務省が策定した「公立病院改革ガイドライン」に基づき、平成21年度から3年間の公立森町病院経営改革プランを策定した。病院は経営改革プラン達成に向けて職員一丸となり取り組んだが、最終年度において最終目標である経常収支の黒字化達成は厳しい状況である。

このような状況において、今後とも当院が地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくため『森町病院事業第2次経営改革プラン』を策定する。

2. 改革プランの基本方針

地域医療の確保のため、公立森町病院、森町家庭医療クリニック及び森町訪問看護ステーションに期待されている役割を明確にし、以下の公共性と経済性の視点に立った必要な見直しを図った上で、安定的かつ自律的な経営の下で良質な医療を継続して提供できる体制を構築する。

- (1) 公立森町病院、森町家庭医療クリニック及び森町訪問看護ステーションの一体的運営を図る
- (2) 地域にとって必要な医療の提供する
- (3) 経営の安定化を目指し、運営の効率化を図る
- (4) 磐田市立総合病院をはじめ、地域の医療機関等との連携と機能分担を推進する

3. 改革プランの構成

森町病院事業第2次経営改革プランは、基本計画とアクションプラン（実施計画）の2層をもって構成する。基本計画では個々の施策を計画的に進めていくため具体的指針を定め、アクションプランでは、基本計画で明らかにされた個々の施策の実効性を確保するうえから、いつまでに、誰が、どのように、いくらで行うのかを定める。

4. 改革プランの計画期間

計画期間は、平成24年度から平成26年度までの3年間とする。

なお、アクションプランは実績と計画の乖離を評価しながら、毎年度、計画の見直しを行う。

また、目標達成が著しく困難な場合、経営改革プランを基本計画から抜本的に改定する。

II. 森町病院事業を取り巻く状況

1. 国の考え方

(1) 社会保障・税一体改革成案（平成23年6月30日 政府・与党社会保障改革検討本部決定）

地域の実情に応じた医療・介護サービスの提供体制の効率化・重点化と機能強化

～診療報酬・介護報酬の体系的見直しと基盤整備のための一括的な法整備～

・病院・病床機能の分化・強化と連携（急性期医療への医療資源の集中投入、亜急性期・慢性期医療の機能強化等による入院医療の機能強化、精神保健医療の改革、医師の偏在是正、地域間・診療科間の偏在の是正、予防対策の強化等）

・平均在院日数の減少等

○平均在院日数 2011年（平成23年度）19～20日程度

⇒ 2025年（平成37年度） 高度急性期：15～16日程度

一般急性期： 9日程度

○病床数：概ね現状水準

○精神医療：2025年（平成37年度）に在院日数1割程度減少

・在宅医療の充実等（診療所等における総合的な診療や在宅療養支援機能の強化・評価、訪問看護等の計画的整備等）

○高度急性期の職員等：2025年（平成37年度）に現行ベースより2倍増

○一般急性期の職員等：2025年（平成37年度）に現行ベースより6割程度増

○在宅医療等 2011年（平成23年度）17万人/日

⇒ 2025年（平成37年度）29万人/日

・外来受診の適正化等（生活習慣病予防、医療連携、ICT、番号、保険者機能の強化等）

・ICTの活用による重複受診・重複検査、過剰な薬剤投与等の削減

○外来患者数：2025年（平成37年度）に現行ベースより5%程度減少

・地域包括ケアシステムの構築等在宅介護の充実、ケアマネジメントの機能強化、居住系サービスの充実等

・施設のユニット化

○GH、小規模多機能：2011年（平成23年度）21万人/日

⇒ 2025年（平成37年度）77万人/日

○居住系・在宅介護：2011年（平成23年度）335万人/日

⇒ 2025年（平成37年度）510万人/日

・介護予防・重度化予防

- ・介護施設の重点化（在宅への移行）

○要介護認定者数：2025年（平成37年度）に現行ベースより3%程度減少

- ・上記の重点化に伴うマンパワー増強

○医療介護従事者：2011年（平成23年度）462万人/日

⇒ 2025年（平成37年度）704～739万人/日（1.6倍程度）

(2) 平成24年度診療報酬改定

(ア) 重点課題

- ① 病院勤務医等の負担の大きな医療従事者の負担軽減
- ② 医療と介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化の推進及び地域生活を支える在宅医療等の充実

(イ) 四つの視点

- ① 充実が求められる分野を適切に評価していく視点
- ② 患者等から見て分かりやすく納得でき、安心・安全で生活の質にも配慮した医療を実現する視点
- ③ 医療機能の分化と連携等を通じて、質が高く効率的な医療を実現する視点
- ④ 効率化余地があると思われる領域を適正化する視点

「平成24年度診療報酬改定に係る検討状況について(現時点の骨子)項目

- 1 「重点課題1」急性期医療の適切な提供に向けた病院勤務医等の負担の大きな医療従事者の負担軽減

項目番号	内 容
1-1	救急・周産期医療の推進について
1-2	病院医療従事者の勤務体制の改善等の取組について
1-3	救急外来や外来診療の機能分化の推進について
1-4	病棟薬剤師や歯科等を含むチーム医療の促進について

- 2 「重点課題2」医療と看護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化の推進及び地域生活を支える在宅医療等の充実

項目番号	内 容
2-1	在宅医療を担う医療機関の役割分担や連携促進について
2-2	看取りに至るまでの医療の充実について
2-3	早期の在宅医療養へ移行や地域生活への復帰に向けた取組の促進について
2-4	在宅歯科、在宅薬剤管理の充実について
2-5	訪問看護の充実について
2-6	医療・介護の円滑な連帯について

- 3 「4つの視点Ⅰ」充実が求められる分野を適切に評価していく視点

項目番号	内 容
3-1	がん医療の充実について
3-2	生活習慣病対策の推進について
3-3	精神疾患に対する医療の充実について
3-4	認知症対策の推進について
3-5	感染症対策の推進について
3-6	リハビリテーションの充実について
3-7	生活の質に配慮した歯科医療の推進について
3-8	医療技術の適切に評価について
3-9	イノベーションの適切に評価について

- 4 「4つの視点Ⅱ」患者からみて分かりやすく納得でき、安心・安全で、生活の質にも配慮した医療を実現する視点

項目番号	内 容
4-1	医療安全対策等の推進について
4-2	患者に対する相談支援体制の充実等について
4-3	診療報酬点数表における用語・技術の平易化、簡素化について

- 5 「4つの視点Ⅲ」医療機能の分化と連携等を通じて、質が高く効率的な医療を現実化する視点

項目番号	内 容
5-1	病院機能にあわせた効率的な入院医療等について
5-2	慢性期入院医療の適切な評価について
5-3	医療の提供が困難な地域に配慮した評価について
5-4	診療所の機能に着目した評価について
5-5	医療機関間の連携に着目した評価について
5-6	調剤報酬について

- 6 「4つの視点Ⅳ」効率化余地があると思われる領域を適正化する視点

項目番号	内 容
6-1	後発医薬品の使用促進について
6-2	平均在院日数の減少や社会的入院の是正に向けた取組について
6-3	市場実勢価格等を踏まえた医薬品・医療材料・検査の適正評価について
6-4	相対的に治療効果が低くなった技術等の適正な評価について

2. 静岡県、中東遠医療圏の医療供給体制

- ・静岡県保健医療計画(平成 22 年 3 月)で、静岡県の二次保健医療圏における基準病床数は 34,126 床、既存病床数は 32,765 床で 1,361 床の不足であり、中東遠医療圏では基準病床数 3,186 床に対し既存病床数 2,894 床で 292 床の不足である。
- ・また、中東遠医療圏における医療施設数は、病院数 19 (公立 6、民間 13) 一般診療所数 302、歯科診療所数 180 である。(厚生労働省 医療施設調査 H22)
- ・中東遠医療圏の回復期リハビリテーション病床数は、4 病院で 222 床である。人口 10 万人対指数で 47 床と全国平均 49 床より 2 床少ない。(H23.4 現在)
- ・中東遠医療圏の医師数は、人口 10 万人対指数で 119.2 人と全国平均の 219.0 人のほぼ半分である。また、静岡県の 182.8 人と比較しても少ない。(H22)

基準病床数

2 次保健医療圏名	基準病床数	既存病床数 平成21年12月31日現在
賀 茂	9 7 8	1, 1 4 0
熱海伊東	1, 1 2 6	1, 1 2 4
駿東田方	6, 5 5 5	6, 7 7 6
富 士	3, 0 2 3	2, 9 2 1
静 岡	7, 1 8 9	6, 4 5 7
志太榛原	4, 2 4 4	3, 3 6 8
中 東 遠	3, 1 8 6	2, 8 9 4
西 部	7, 8 2 5	8, 0 8 5
計	3 4, 1 2 6	3 2, 7 6 5

(注) 既存病床数は、医療法施行規則の規定に基づき、所要の補正を行った数値です。

2 次保健医療圏における療養病床及び一般病床数

3. 中東遠医療圏の受療状況

- ・厚生労働省は病院及び診療所を利用する患者について、その傷病状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料にすることを目的に、3 年に一度患者調査を実施しており、直近では平成 20 年 10 月に調査が実施された。
- ・人口 10 万人あたりの換算には平成 22 年の国勢調査の人口を利用して算出した。
- ・推計入院患者数(人口 10 万人あたり)から、全国入院患者 1,041 人に対し、静岡県 836 人、中東遠 830 人と 20%程度少ない。
- ・中東遠の患者の流出は、中東遠への流入を 0 と想定しても、18%程度である。
- ・疾病大分類(ICD10)で見ると新生物、神経系疾患、循環器系疾患、消化器系疾患、筋骨格系及び結合組織疾患の流出が多い。

傷病大分類別(ICD10)推計入院患者数(人口10万人あたり換算)

	施設所在地				患者所在地		
	全国	静岡県	中東遠	对患者所在地	全国	静岡県	中東遠
総数	1,041	865	681	82%	1,041	836	830
I 感染症及び寄生虫症	19	16	0	0%	19	16	21
II 新生物	122	109	64	60%	122	109	106
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4	3	0	-	4	3	0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	27	19	21	100%	27	16	21
V 精神及び行動の障害	234	175	191	100%	234	170	191
VI 神経系の疾患	80	72	43	67%	80	64	64
VII 眼及び付属器の疾患	7	5	0	-	7	5	0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2	3	0	-	2	3	0
IX 循環器系の疾患 (脳血管疾患)(再掲)	208	191	149	78%	208	183	191
X 呼吸器系の疾患	150	146	106	83%	150	135	128
X I 消化器系の疾患	63	45	43	100%	63	45	43
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	51	40	21	50%	51	40	43
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	9	8	0	-	9	11	0
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	47	34	21	50%	47	34	43
X V 妊娠、分娩及び産じょく	34	29	21	100%	34	27	21
X VI 周産期に発生した病態	12	11	21	100%	12	11	21
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5	5	0	-	5	5	0
X VIII 先天奇形、変形及び染色体異常	4	5	0	-	4	3	0
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14	11	21	100%	14	11	21
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	91	80	64	100%	91	77	64
骨折	61	53	43	100%	61	53	43
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービス利用	6	5	21	-	6	5	0

※平成20年患者調査(厚生労働省)
※平成22年国勢調査で10万人換算

4. 森町の状況

(1) 森町の現状と概況

(ア) 自然・地形

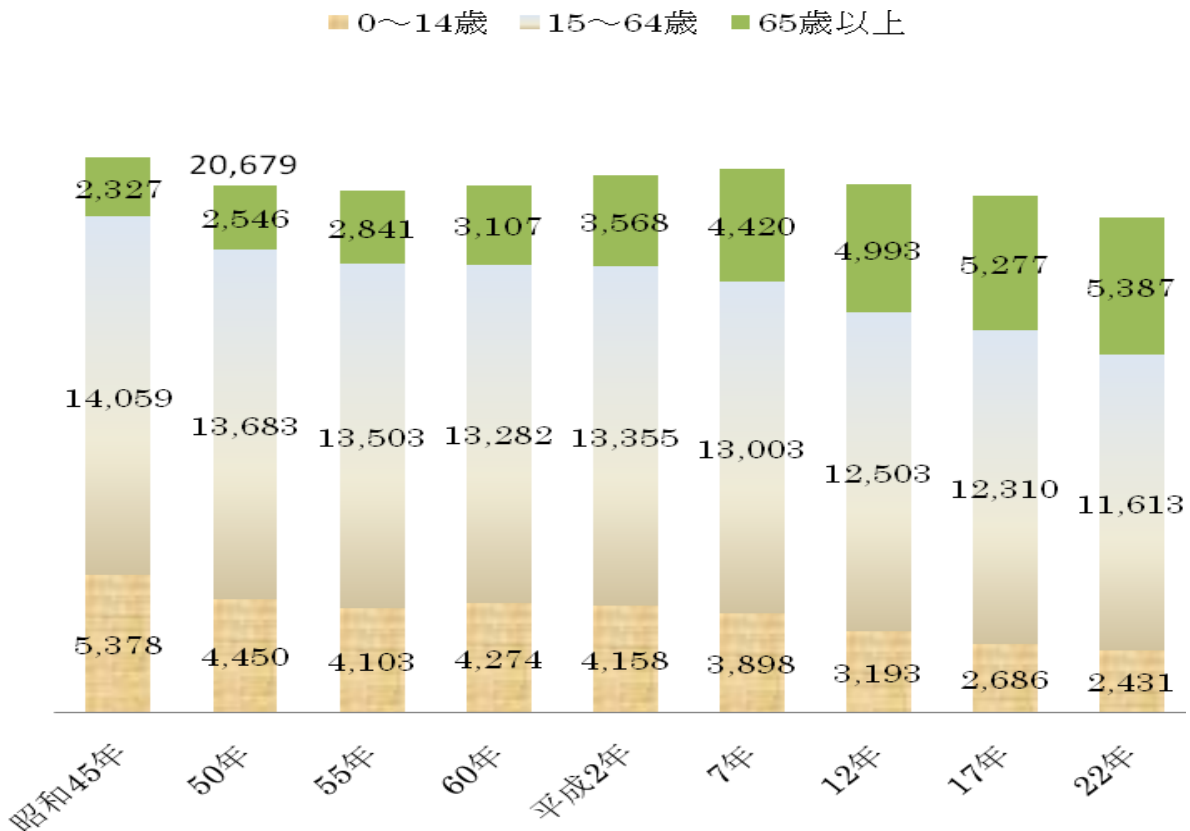


標高	■ 最高/941.0m ■ 最低/15.4m
面積	■ 133.84 平方 km ■ 東西/13km ■ 南北/24km

(イ) 人口

- ・ 森町の人口は平成 22 年の国勢調査で 19,431 人であり、県全体人口の 0.52%である。県の平成 22 年の総人口は 5 年前の平成 17 年対比 0.7%と微減しているが、森町の人口は平成 7 年をピークに減少に転じ、平成 22 年は平成 7 年対比 91.1%と約 9%減少し、平成 17 年対比で 4.1%減少している。
- ・ 森町の平成 22 年の総人口は、人口ピーク時の平成 7 年対比 91.1%と約 9%減少している。年齢区分別で見ると年少人口（0～14 歳）と生産年齢人口（15～64 歳）は平成に入って毎年減少しており、平成 7 年を基準とする人口減少率は年少人口で約 38%、生産年齢人口で約 11%である。特に、年少人口の減少が著しい。一方老年人口（65 歳以上）は昭和 60 年以降毎年増え続け、平成 22 年は平成 7 年対比約 22%の増加となっている。また、75 歳以上に限定した場合、平成 22 年は平成 7 年対比約 73%の増加となっている。

年齢区分別人口推移

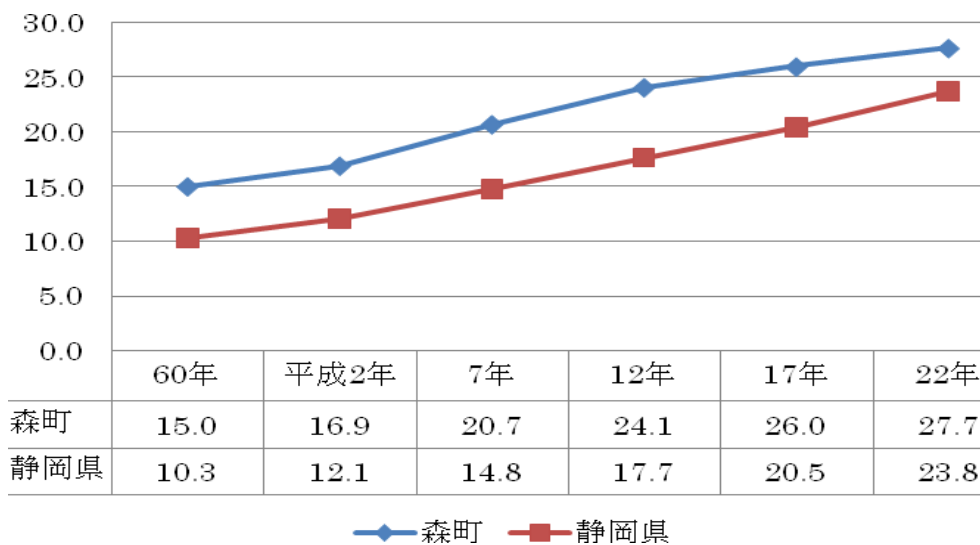


「国勢調査報告」

- ・ 森町の高齢化率は、平成 22 年では 27.7%と県全体の高齢化率 23.8%を 3.9 ポイント上回っている。平成 17 年が町の高齢化率 26.0%、県が 20.5%と 5.5 ポイント差があったものが 5 年間で 1.6 ポイント縮小した。
- ・ 森町の 75 歳以上率は、平成 22 年では 16.2%と平成 17 年の 13.8%から 2.4 ポイント伸び、高齢化率の伸び 1.7 ポイントを 0.7 ポイント上回っている。県全体の 75 歳以上率が平成 22 年度 11.4%で町が 4.8 ポイント上回っている。

森町及び県全体の高齢化率

「国勢調査報告」



(ウ) 出生者数及び死因別死亡者数

①出生者数及び死亡者数

- ・ 静岡県全体の出生者数の推移は平成元年に比べ平成 21 年は約 16%の減少であるのに対し、森町の出生者数は同期間比較で約 33%と大幅に減少している。
- ・ 一方、死亡者数は県全体が同期間で約 50%増加しているが、森町の死亡者数は約 40%の増加に留まっており、出生者数とは対照的に長寿の高齢者が多い。

出生数及び死亡者数

(単位:人、%)

	出生数		死亡数	
	森町	県	森町	県
平成元年	203	38,075	169	22,769
	100	100	100	100
平成6年	159	37,642	186	25,503
	78	99	110	112
平成11年	144	35,395	173	28,753
	71	93	102	126
平成16年	141	33,628	202	29,809
	69	88	120	131
平成21年	136	31,901	236	34,209
	67	84	140	150

「静岡県人口動態統計」

②3 大死因別死亡者数

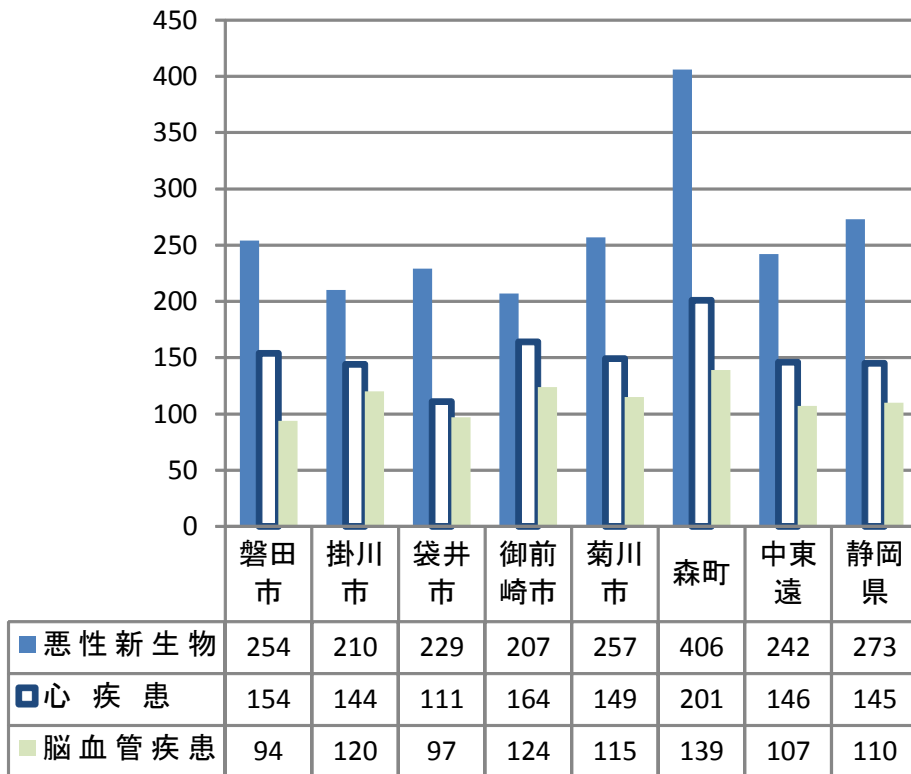
- ・静岡県における平成 22 年の 3 大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）別死亡者数は全死亡者数に対して 54.6%で、平成 15 年比では 4.6 ポイント低下している。
- ・中東遠圏域における平成 22 年の 3 大死因による死亡比率は 52.9%で県全体の 54.6%より若干低い。平成 15 年比では 5.4 ポイント低下している。
- ・森町における平成 22 年の 3 大死因による死亡比率は 54.2%で、平成 15 年比では 5.3 ポイント低下している。3 大死因による死亡者の割合は減少傾向にある。
- ・森町の死亡者数は、高齢化に伴い平成 21 年は平成 15 年比約 28%増加している。特に悪性新生物による死亡者数は、平成 22 年は平成 15 年比約 36%増加した。
- ・平成 22 年の死因別の比率を見ると、森町は心疾患、脳血管疾患による死亡率は静岡県や中東遠圏域より低い。悪性新生物による死亡比率は、静岡県や中東遠圏域に比べ約 1%及び 4%と高い。
- ・人口 10 万対の指数（平成 22 年国勢調査）で見ると、森町の悪性新生物による死亡は県全体や中東遠圏域の指数より 130 ポイント以上、心疾患は 50 ポイント、脳血管疾患は 30 ポイント上回り、中東遠で第 1 位である。

静岡県の3大死因別死亡者数

(単位:人、%)

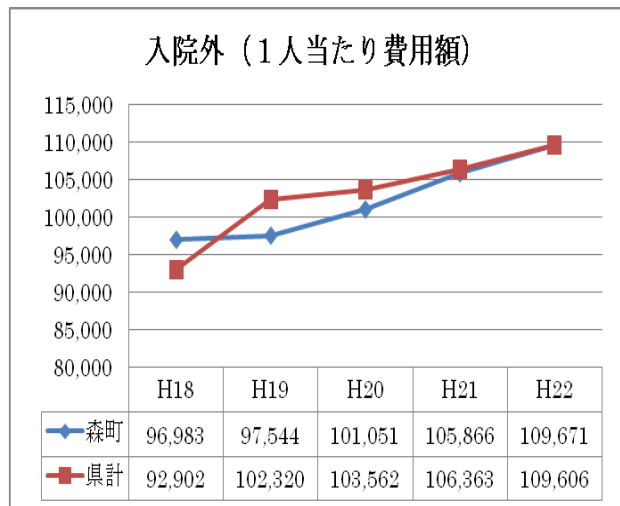
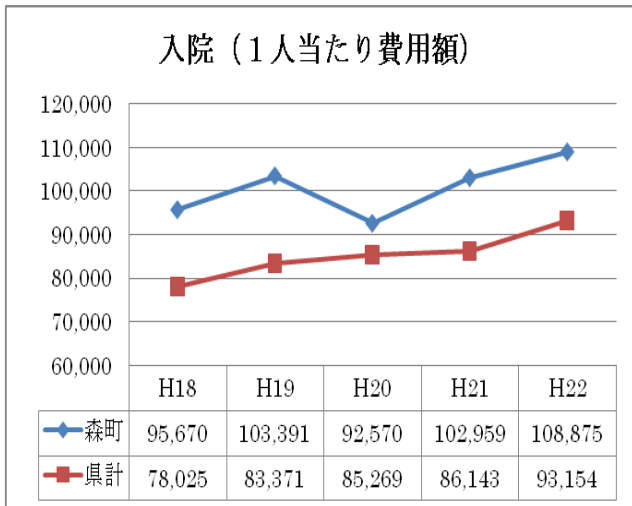
		全死亡	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
静岡県	H15	29,813	8,666	4,731	4,248
		100.0%	29.1%	15.9%	14.2%
	H19	32,507	9,391	4,989	4,087
		100.0%	28.9%	15.3%	12.6%
	H22	36,420	10,262	5,464	4,145
		100.0%	28.2%	15.0%	11.4%
中東遠	H15	3,261	892	536	474
		100.0%	27.4%	16.4%	14.5%
	H19	3,732	1,013	603	447
		100.0%	27.1%	16.2%	12.0%
	H22	4,407	1,138	686	505
		100.0%	25.8%	15.6%	11.5%
森町	H15	210	58	33	34
		100.0%	27.6%	15.7%	16.2%
	H19	218	70	31	26
		100.0%	32.1%	14.2%	11.9%
	H22	268	79	39	27
		100.0%	29.5%	14.6%	10.1%

「静岡県人口動態統計」

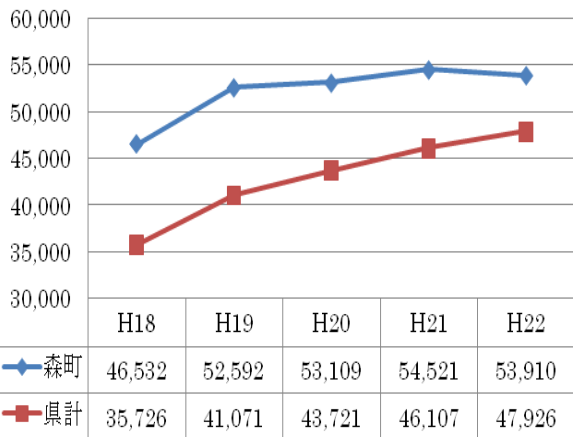


(エ) 森町国保医療費の動向

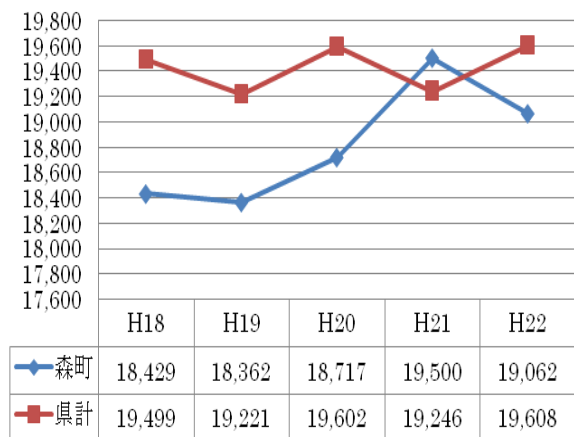
- ・ 森町国保の1人当たり年間医療費（自己負担分を含めて）は、平成18年度から平成22年度におよそ15%増加して291千円超になり、静岡県より21千円高くなっている。
- ・ 森町国保の入院費用は同期比でおよそ14%増加したが、県も同期比でおよそ19%増加している。
- ・ 歯科は、同期比森町では増加傾向にあるが、県は横ばいである。
- ・ 調剤は、同期比森町でおよそ16%増加し、県ではおよそ34%増加している。年間費用では、森町が県より6千円程度高い。



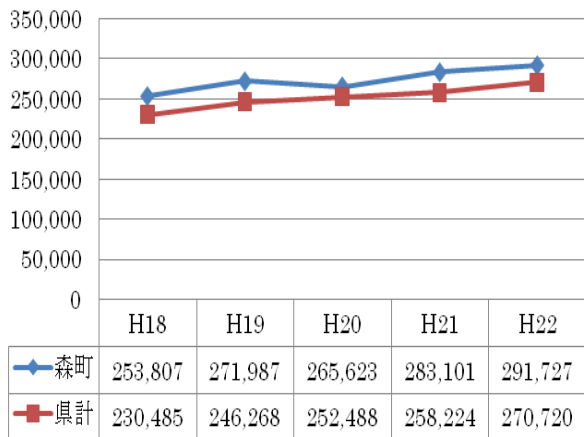
調剤（1人当たり費用額）



歯科（1人当たり費用額）



合計（1人当たり費用額）



資料：役場住民生活課

(オ) 特定健診（保険者森町）の状況

- ・平成 22 年度の特定健診（保険者森町）対象者 3,592 人、受診者 1,599 人で受診率 44.5%となっている。受診率は平成 21 年度比 4 ポイント増加した。
- ・特定保健指導対象者の割合は、積極的支援及び動機付け支援合わせて平成 21 年度 10.8%から平成 22 年度 8.2%と 2.6 ポイント減少している。
- ・積極的支援及び動機付け支援の利用者の割合は、平成 21 年度の 90%超から平成 22 年度は 80%弱まで 10 ポイント以上減少している。

特定健診・特定保健指導実施状況（保険者：森町）

		平成21年度	平成22年度			
			40～64歳	65～74歳	計	
特定健診対象者(人)		3,574	1,906	1,686	3,592	
特定健診受診者(人)		1,447	773	826	1,599	
健診受診率(%)		40.5	40.6	49.0	44.5	
特定保健指導	積極的支援	対象者(人)	47	47	0	47
		対象者の割合(%)	3.2	6.1	0.0	2.9
		利用者(人)	43	37	0	37
		利用者の割合(%)	91.5	78.7	0.0	78.7
		終了者(人)	32	15	0	15
		終了者の割合(%)	68.1	31.9	0.0	31.9
	動機付き支援	対象者(人)	111	31	54	85
		対象者の割合(%)	7.6	4.0	6.5	5.3
		利用者(人)	100	20	47	67
		利用者の割合(%)	90.1	64.5	87.0	78.8
		終了者(人)	89	17	45	62
		終了者の割合(%)	80.2	54.8	83.3	72.9
終了者の割合(%)		76.6	41.0	83.3	58.3	

資料：役場住民生活課

(2) 森町の医療・福祉施設の現状

(ア) 医療提供体制（厚生労働省 医療施設調査 H22）

- ・ 内科診療所は、人口 10 万人対指数で県下で三番目に少ない。
- ・ 歯科診療所は、人口 10 万人対指数で県下で二番目に少ない。
- ・ 有床施設は公立森町病院のみで、人口 10 万人対指数での病床数は県下で七番目に少なく全国平均のおよそ 50%程度である。

(イ) 介護施設及び認定者数

介護施設（平成 24 年 4 月現在）

施設の種類の種類	施設数・定員	備考
介護老人福祉施設	2 箇所 入所 109 床、ショートステイ 12 床	森町愛光園
介護老人保健施設	1 箇所 入所 80 床、ショートステイ 8 床	風の杜
デイサービスセンター	9 箇所 173 人	
デイケア	1 箇所 40 人	風の杜
グループホーム	2 箇所 36 人	

介護度別認定者数・構成比

単位：人、構成比

		H 1 9		H 2 0		H 2 1		H 2 2		H 2 3		H 2 0 . H 1 9 . 減 率
		4 月	1 0 月	4 月	1 0 月	4 月	1 0 月	4 月	1 0 月	4 月	1 0 月	
要 支 援	実 数	57	50	50	59	58	76	82	94	102	118	207.0%
	構成比	7.5	6.4	6.6	7.4	7.0	9.1	9.8	11.0	11.3	12.8	
要 支 援	実 数	73	80	87	101	97	96	89	73	69	73	100.0%
	構成比	9.6	10.3	11.5	12.6	11.8	11.5	10.7	8.6	7.7	7.9	
要 介 護	実 数	148	133	129	154	158	158	177	198	221	213	143.9%
	構成比	19.4	17.1	17.1	19.2	19.2	18.9	21.2	23.2	24.6	23.2	
要 介 護	実 数	126	145	142	140	153	155	141	131	169	167	132.5%
	構成比	16.6	18.7	18.8	17.5	18.6	18.5	16.9	15.4	18.8	18.2	
要 介 護	実 数	152	153	142	139	134	121	113	118	120	116	76.3%
	構成比	20.0	19.7	18.8	17.4	16.3	14.5	13.5	13.8	13.3	12.6	
要 介 護	実 数	100	110	106	102	117	120	123	135	123	119	119.0%
	構成比	13.1	14.2	14.0	12.7	14.2	14.4	14.7	15.8	13.7	12.9	
要 介 護	実 数	105	105	99	106	107	110	110	104	95	113	107.6%
	構成比	13.8	13.5	13.1	13.2	13.0	13.2	13.2	12.2	10.6	12.3	
計	実 数	761	776	755	801	824	836	835	853	899	919	120.8%
	構成比	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
第 1 号 被 保 険 者 数		5,456	5,473	5,479	5,492	5,523	5,531	5,529	5,496	5,469	5,459	
第 1 号 被 保 険 者 認 定 者 数		761	776	755	801	824	836	835	853	899	919	
第 1 号 被 保 険 者 認 定 率		13.9%	14.2%	13.8%	14.6%	14.9%	15.1%	15.1%	15.5%	16.4%	16.8%	

資料：役場保健福祉課

(3) 地域医療町民アンケート調査（調査結果は P48～52）

- ・平成 23 年 2 月、無作為に抽出した町民 500 人に対し、日ごろから町民の皆さまが医療に関して感じていることを調査しました。回収件数 277 件、回収率 55.4%
- ・森町の医療体制をどう感じているか
「とても安心」が 14%、「どちらかといえば安心」が 38%で、あわせて 52%が安心と回答している。「とても不安」、「どちらかといえば不安」あわせて 24%が不安と回答している。
- ・「とても不安」、「どちらかといえば不安」の理由について、「休日・夜間の救急医療」25%、「心筋梗塞、脳卒中などの救急医療」22%、「がん治療などの入院や手術が必要な医療」18%が多く、あわせて 65%とおおよそ 2/3 を占めている。
- ・医療機関の選定理由は
「近い」23%、「かかりつけ医」16%、「医師の技術・能力」13%が多く、「医師・看護師が患者の気持ちを理解」、「評判」、「設備・機器の充実」、「交通の便」、「待ち時間が短い」が 10%～5%回答があった。
- ・かかりつけ医はいますか
「いる」の回答が 60%で、そのうち「町内にいる」との回答は 32%に留まっている。
- ・「かかりつけ医」を決める条件は
「病気により適切に医療機関を紹介」20%、「どんな病気でも診療」18%、「どんな事でも相談できる」18%が多く、「医師・看護師が患者の気持ちを理解」、「きめこまかく診療」、「受診しやすい診療時間（土日診療や夜間診療）」、「待ち時間が短い」が 12%～6%回答があった。
- ・公立森町病院へ過去 1 年以内の受診
「ある」51%
- ・公立森町病院を受診した理由は
「近い」30%、「かかりつけ医」19%が多く、「設備・機器の充実」、「医師・看護師が患者の気持ちを理解」、「救急で来院」、「交通の便」が 10%～7%回答があった。
- ・公立森町病院の診療は
「満足」が 27%、「やや満足」が 24%で、あわせて 51%が満足と回答している。「不満」、「やや不満」あわせて 17%が不満と回答している。

5.外部環境の将来予想

(1) 森町の将来人口推計

- ・国立社会保障・人口問題研究所の平成 20 年 12 月推計では、森町の人口は 2010 年（平成 22 年）から 2025 年（平成 37 年）にかけておよそ 18,000 人（9%減少）となる。全国でおよそ 6%減少、中東遠がおよそ 2%減少で森町の人口減少を下回る予想となっている。
- ・年齢 3 区分別で見ると、年少人口、生産人口あわせては 2010 年（平成 22 年）から 2025 年（平成 37 年）にかけておよそ 25%減少。一方老年人口は同期比でおよそ 18%増加することが予想され、その結果平成 22 年の高齢化率 27.7%が平成 37 年には 35.5%と人口の 3 人に一人は 65 歳以上の高齢者になると予想される。尚、75 歳以上の割合も平成 22 年の 16.2%が平成 37 年には 20.0%に増加する。
- ・全国、中東遠でも 2025 年（平成 37 年）の高齢化率は 30%を超えるが森町とは 5 ポイントの差がある。
- ・特徴的には、年少人口、生産人口あわせた人口の同期比での減少が、全国、中東遠がおよそ 11%、12%で留まるのに対し森町ではおよそ 25%減少することである。

将来人口推計		20年0 平成年	20年5 平成年		20年5 平成年		20年5 平成年	
			増減率 対201	増減率 対201	増減率 対201	増減率 対201		
全国	総人口指数	100	98.6	-2.4%	93.8	-6.2%	87.0	-13.0%
	0歳～64歳	76.9%	73.1%	-4.8%	69.5%	-8.6%	66.4%	-11.5%
	6歳～74歳	13.8%	13.5%	-0.3%	12.3%	-1.5%	13.5%	1.1%
	7歳以上	11.2%	13.1%	1.9%	18.2%	7.0%	20.2%	4.4%
中東遠	総人口指数	100	99.8	-0.2%	97.6	-2.4%	93.1	-4.9%
	0歳～64歳	78.4%	74.7%	-4.7%	70.0%	-10.0%	67.5%	-12.6%
	6歳～74歳	0.4%	12.8%	12.4%	12.9%	12.5%	12.1%	1.4%
	7歳以上	11.2%	12.5%	1.3%	17.8%	6.6%	20.3%	4.5%
森町	総人口指数	100	97.1	-2.9%	90.6	-6.5%	83.8	-16.2%
	0歳～64歳	72.7%	70.0%	-2.7%	64.5%	-8.8%	63.9%	-9.1%
	6歳～74歳	1.1%	12.7%	11.6%	15.5%	14.4%	11.5%	2.9%
	7歳以上	16.2%	17.3%	1.1%	20.0%	3.8%	24.7%	3.4%
	総人口	19,871	19,292	-2.9%	17,995	-6.5%	16,649	-16.2%
	0歳～64歳	14,403	13,510	-6.2%	11,602	-19.4%	10,633	-23.5%
6歳～74歳	221	2,451	1,097%	2,732	11.2%	1,915	-29.1%	
7歳以上	3,217	3,330	3.4%	3,661	12.8%	4,102	12.1%	

国立社会保障・人口問題
(市区町村別将来推計人口)

(2) 中東遠医療圏の医療供給体制予想

- ・中東遠総合医療センター（袋井市立袋井市民病院、掛川市立総合病院の統合病院）が、平成 25 年 5 月 1 日にオープンする。

概要

所在地：掛川市下俣・長谷地内

敷地面積：約 137,200 m²

病床数：500 床（一般病床 496 床、感染症病床 4 床）

(うち、ICU、CCU、救急病床 22 床)

外来患者数 (想定) : 1,200 人/日

標榜科 : 32 科

内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、血液内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科、人工透析外科、脳神経外科、整形外科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線診断科、腫瘍放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、精神神経科、病理診断科

機能のセンター化 : ・脳・心臓血管内治療センター

- ・血液浄化センター (透析)
- ・睡眠医療センター
- ・脊椎・脊髄センター
- ・PET センター
- ・人間ドック・健診センター

主な病院機能

1 急性期入院医療

地域の中核病院として、急性期疾患に対する専門的かつ高度な診療機能を整備する。

2 救急医療

ICU、CCU、救急専用病床等を整備し、信頼される 2 次救急医療を提供する。

3 循環器系疾患への対応

脳・心臓血管内治療センターを設置して、循環器内科・神経内科・脳神経外科により、血管内治療や脳外科治療を組み合わせた治療を実施する。

4 がん医療

- ・手術、化学療法、放射線治療による集学的治療を推進する。
- ・PET センターを設置し、がんの検出、病期診断、治療効果判定、転移・再発診断等を実施する。
- ・緩和ケアチームによる緩和ケア医療を提供する。

5 糖尿病治療の推進

- ・糖尿病の知識の普及と生活指導の推進
- ・地域連携による紹介医制度の確立
- ・コントロール不良例の治療
- ・糖尿病による合併症の管理

6 小児・周産期医療

小児の急性期医療体制の整備を図るとともに、周産期医療体制を整備する。

7 慢性腎不全患者の治療

血液浄化センターを設置して、腎臓内科・人工透析外科により、慢性腎不全に対する

血液透析や腹膜透析をはじめとした各種血液浄化治療を実施する。

8 睡眠障害の治療

睡眠医療センターを設置して、神経内科・耳鼻いんこう科・歯科口腔外科により、睡眠時無呼吸症候群等の睡眠障害に対する治療を実施する。

9 脊椎・脊髄医療

脊椎・脊髄センターを設置して、脳神経外科・整形外科・神経内科により、脊椎（背骨）とその中にある脊髄（神経）に関する疾患に対する治療を行う。

10 健診機能

人間ドック・健診センターを設置して、人間ドックやがん検診などを充実させることで、病気の早期発見に努める。

11 災害時医療

建物の免震化、ライフラインの二重化等、災害に対するインフラ施設を整備し、災害時にも継続的に診療が機能し、災害による患者の受け入れが可能な体制を整える。

12 病病連携・病診連携

地域における効率的医療を推進するため、病病連携・病診連携を積極的に行う。

13 医療・保健・福祉の連携

地域において施設医療と在宅医療及び予防的医療を統合的かつ継続的に施行するため、連携の中心的施設となる。

14 研修及び教育機能

地域の基幹病院として、医療に関する研修及び教育機能を充実する。

- ・袋井市立袋井市民病院が、中東遠総合医療センターのオープンにあたり、地域内で完結する保健・医療・介護を目指し、現病院をリニューアルして中東遠総合医療センター機能を補完する。

概要

医療分野：社会福祉法人聖隷事業団へ指定管理

- ・総合内科的外来（一次医療機能低下を防ぐため外来開設）
- ・病床はおよそ 150 床（療養病床、一般病床、回復期リハ病床）で急性期・回復期医療の後方支援や在宅療養患者の一次入院機能を有する。

休日夜間急患センター：開業医による在宅当番医制で実施している一次救急について、医師会と連携して設ける。

（仮称）総合健康センター：保健・医療・介護分野の横断的な取り組みを促進させ、地域完結型の総合的な健康支援システムの構築を目指した拠点センター

- ・（仮称）掛川東病院が、掛川市立総合病院跡地にオープン の 予 定

基本方針

- 1 近隣自治体病院の後方支援を担う病院として退院先の受け入れ機能を果たす。
- 2 地域の開業医と連携し掛川市及び近隣市町の高齢者医療・介護に貢献する。
- 3 掛川北病院との連携により迅速で機能的なシステムを構築し、近隣病院、老人保健施設等及び在宅医療の支援を行う。

概要

敷地面積：約 19,000 m²

建 物：RC 造 5 階建て 延べ面積 14,428 m²

病 床 数：療養病床 240 床（見込み）、通所リハビリ定員 40 名（予定）

標榜科目：内科、リハビリテーション科

開院予定：平成 26 年 6 月

- ・中東遠医療圏の急性期病床数は、平成 25 年 5 月の中東遠総合医療センターのオープン、袋井市立袋井市民病院の縮小、掛川市立総合病院の閉鎖により 300 床が減少する。
- ・中東遠医療圏の回復期リハビリテーション病床は、平成 24 年 4 月の御前崎市立総合病院の 22 床増床、平成 25 年 4 月の豊田えいせい病院の 60 床、平成 25 年 5 月の袋井市立袋井市民病院の 50 床及び平成 26 年 6 月にオープンする掛川東病院と今後 3 年間で 200 床弱が増加する。

(3) 新東名高速道路開通予定

- ・御殿場 JCT ～浜松いなさ JCT 間（延長 144.7 km）、浜松いなさ JCT～三ヶ日 JCT 間（延長 12.7 km）、清水 JCT～新清水 JCT 間（延長 4.5 km）が平成 24 年 4 月 14 日に開通する。
- ・浜松いなさ JCT～豊田東 JCT（延長約 53 km）は、平成 26 年度に開通予定
- ・森掛川 IC が、公立森町病院のおよそ 3 km 東に設置される。
- ・森町は、遠州森町 PA にスマート IC 設置を目指している。



NEXCO中日本 HP

6. 森町病院事業の内部環境

(1) 公立森町病院の概要

(ア) 病院の概要

- 名称 : 公立森町病院
- 所在地 : 静岡県周智郡森町草ヶ谷 391 番地の 1
- 開設年月日 : 昭和 33 年 7 月
- 診療科目 : 内科、外科、肛門外科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、麻酔科 (12 診療科)
- 病床数 : 一般病床 131 床
(急性期病床 93 床、回復期リハビリテーション病床 38 床)
- 施設規模 : 敷地面積 20,143 m² 延床面積 9,240.95 m²
建物構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
階数 地上 3 階 塔屋 1 階
駐車場台数 126 台 (内、身障者用 5 台)
- 職員数 : 167 名 (正規職員数 平成 23 年 3 月 31 日)
医師 12 名、薬剤師 5 名、臨床検査技師 6 名、放射線技師 5 名、
栄養士 2 名、理学療法士 10 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 2 名、
歯科衛生士 2 名、視能訓練士 1 名、医療福祉相談員 1 名、
医療情報技師 1 名、保健師 1 名、看護師看護師 86 名、准看護師 2 名、
事務職 8 名、その他職員 19 名
- 機関指定病院 : 保険医療機関 身体障害者福祉法指定病院 生活保護法指定病院
結核予防法指定病院 労災保険指定病院 救急指定告示病院
戦傷病者指定医療機関 医師臨床研修協力病院

(イ) 沿革

- 昭和 33 年 7 月 静岡県厚生農業協同組合周智病院を買収、森町に移管し「公立周智病院」とする
- 昭和 34 年 8 月 「公立森町病院」開院 (内科、外科、産婦人科)、
一般病床 73 床、結核病床 27 床、計 100 床
- 昭和 35 年 4 月 公営企業法財務規定適用
- 昭和 35 年 6 月 一般病床 101 床、結核病床 27 床、計 128 床
- 昭和 42 年 2 月 一般病床 76 床、結核病床 27 床、伝染病床 28 床、計 131 床
- 昭和 46 年 6 月 増改築の工事着手
一般病床 118 床、結核病床 27 床、伝染病床 28 床、計 173 床
- 昭和 59 年 9 月 結核病棟廃止し、一般病床 143 床、伝染病床 28 床、計 171 床
- 昭和 60 年 3 月 伝染病床廃止し、一般病床 143 床とする
- 平成 9 年 3 月 森町草ヶ谷地内に全面新築移転、一般病床 140 床にて業務開始

(内科、外科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科)

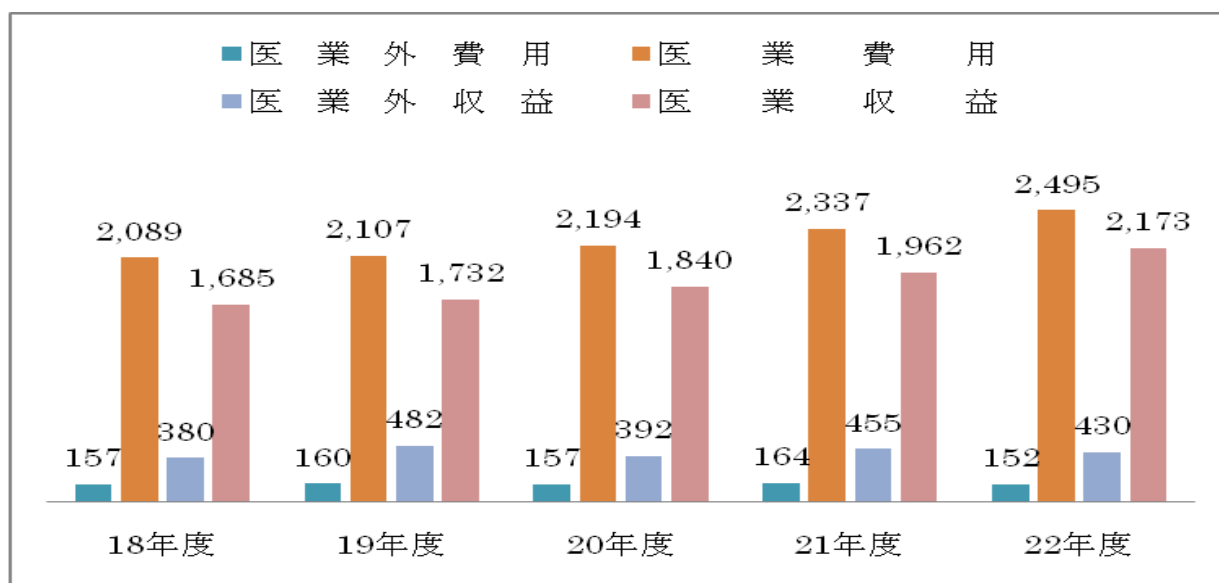
平成 11 年 10 月	訪問看護室を森町訪問看護ステーションとする
平成 15 年 7 月	オーダーリングシステム稼働
平成 15 年 10 月	地域医療連携室設置
平成 18 年 1 月	病院機能評価 (Ver.4.0) 認定
平成 19 年 4 月	かわせみ保育園開設
平成 20 年 1 月	磐田市立総合病院と医療連携及び協力に関する協定締結
平成 21 年 10 月	改築工事により回復期リハビリテーション病棟 (38 床) 開設 計 131 床
平成 22 年 2 月	PACS 稼働

(ウ) 経営実績の概要

① 医業収益の推移と医業収支比率

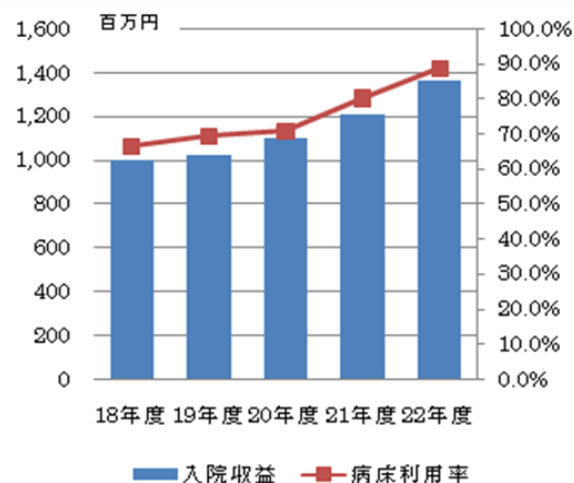
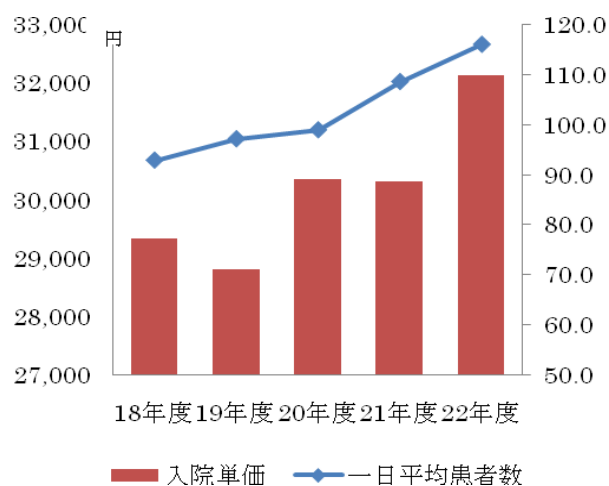
- ・ 医業収益は、平成 18 年度の 1,685 百万円から毎年増加しており、平成 22 年度は 2,173 百万円と平成 18 年比 29%増加した。
- ・ 医業収益のうち入院収益は、平成 21 年度に急性期の 1 病棟分を回復期リハビリテーション病棟に転換したことにより、平成 18 年度に 994 百万円であったが、平成 22 年度は 1,363 百万円と約 37%増加した。その間の 1 日平均の入院患者数は平成 18 年度の 92.9 人から平成 22 年度には 116.2 人 (25%増) となり、病床利用率も 66.4%から 88.7%に増加した。また、患者 1 人 1 日当たりの診療収入は平成 18 年度の 29,330 円から平成 22 年度は 32,137 円へと約 10%向上した。
- ・ 外来収益は、平成 18 年度は 590 百万円であったが、平成 22 年度は 680 百万円と約 15%増加した。その間の 1 日平均の外来患者数は 372 人から 366 人とほぼ横ばいでしたが、患者 1 人 1 日当たりの診療収入は平成 18 年度に 6,468 円であったものが平成 22 年度には 7,640 円と約 18%向上した。
- ・ 医業収益が平成 22 年度は平成 18 年度比約 29%増加したが、一方の医業費用に関しても平成 18 年度 2,089 百万円から平成 22 年度には 2,495 百万円と約 19%増加した。内訳としては職員給与費が約 36%、経費が約 19%とそれぞれ増加したが、材料費が約 17%減少して、結果的に 19%の増加となった。
- ・ その結果、医業収支比率は平成 18 年度の 80.7%から平成 22 年度では 87.1%と約 6 ポイント改善した。

収益と費用の推移

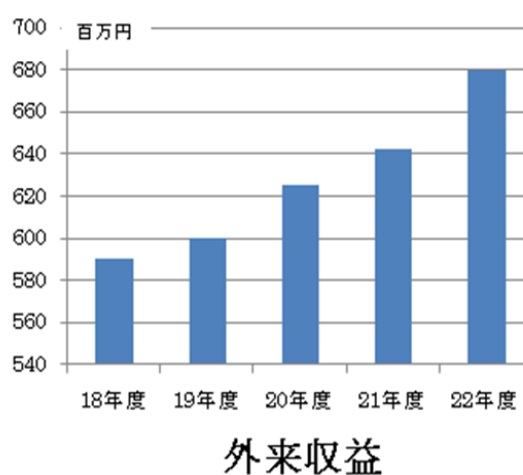
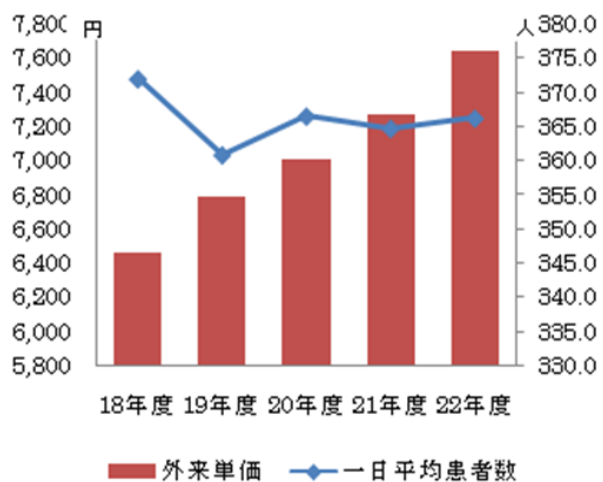


病院資料

入院収益等の推移

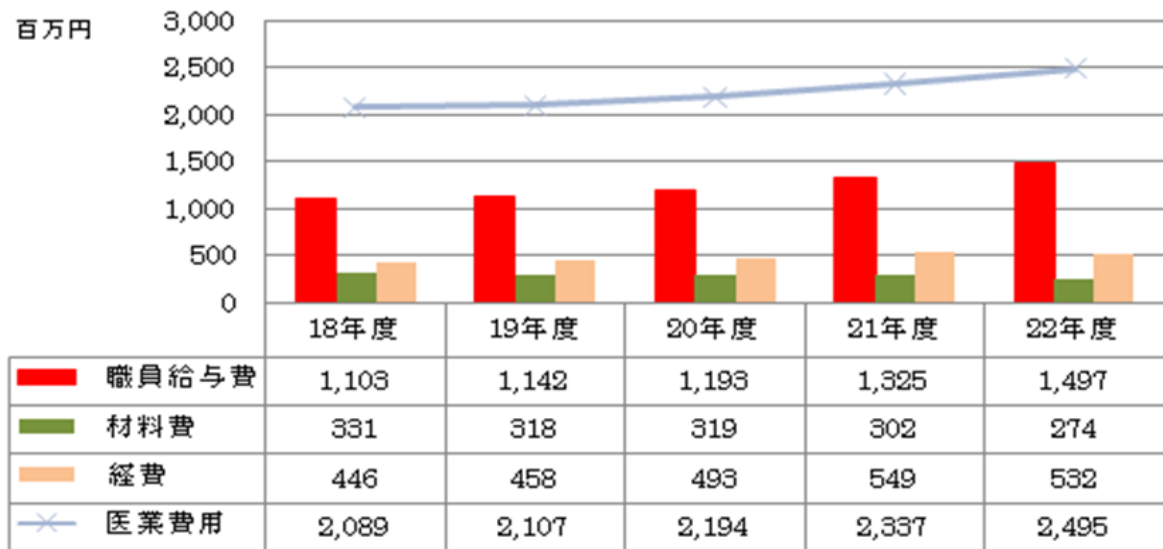


外来収益等の推移

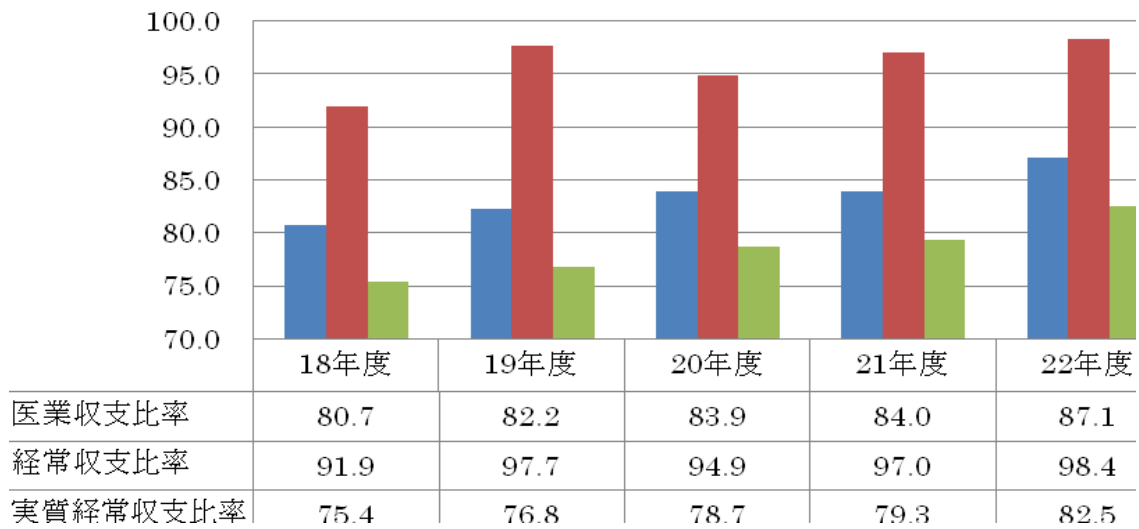


外来収益

医業費用内訳推移



各収支比率の推移



損益計算書

単位:百万円

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総 収 益	2,065	2,214	2,232	2,426	2,604
医 業 収 益	1,685	1,732	1,840	1,962	2,173
入院収益	994	1,024	1,096	1,202	1,363
外来収益	618	628	651	672	719
その他医業収益	73	80	93	88	91
医 業 外 収 益	380	482	392	455	430
国県補助金	0	0	0	0	0
他会計負担金	372	473	382	442	420
保育園収益	0	1	2	3	3
その他医業外収益	8	8	8	10	8
特 別 利 益	0	0	0	9	1
総 費 用	2,252	2,273	2,355	2,542	2,675
医 業 費 用	2,089	2,107	2,194	2,337	2,495
職員給与費	1,103	1,142	1,193	1,325	1,497
材料費	331	318	319	302	274
経 費	446	458	493	549	532
【うち委託費	331	332	355	396	361
減価償却費	201	185	180	144	164
資産減耗費	4	1	5	11	23
研究研修費	4	3	4	6	6
医 業 外 費 用	157	160	157	164	152
支払利息	115	111	107	102	98
繰延勘定償却	3	3	0	0	0
保育園運営費	0	8	9	12	11
雑支出	39	38	41	50	43
特 別 損 失	6	6	4	41	28
医 業 利 益	△ 404	△ 375	△ 354	△ 375	△ 322
経 常 利 益	△ 181	△ 53	△ 119	△ 84	△ 44
純 利 益	△ 187	△ 59	△ 123	△ 116	△ 71

(収益的) 他会計繰入金	372	473	382	442	420
(資本的) 他会計負担金	138	157	198	118	120
他会計繰入金合計	510	630	580	560	540

医業収支比率	80.7	82.2	83.9	84.0	87.1
経常収支比率	91.9	97.7	94.9	97.0	98.4
実質経常収支比率	75.4	76.8	78.7	79.3	82.5
職員給与費対医業収益比率	65.5	65.9	64.8	67.5	68.9
材料費対医業収益比率	19.6	18.4	17.3	15.4	12.6
委託費対医業収益比率	19.6	19.2	19.3	20.2	16.6

病院資料

患者1人1日当たり診療収入

		平成21年度				当院 平成22年 度
		100床以上200床未満		全一般病院		
		医業収支 マイナス	医業収支 プラス	医業収支 マイナス	医業収支 プラス	
入院	投薬	656	735	716	677	429
	注射	2,167	2,074	2,314	2,314	1,440
	処置・手術	4,131	4,942	9,053	10,889	2,647
	検査	1,111	1,127	1,143	1,193	1,316
	放射線	691	645	665	663	985
	入院料	15,375	16,544	20,370	22,972	19,155
	入院時食事療養	1,551	1,607	1,546	1,611	1,649
	その他	2,154	1,759	3,220	2,162	4,513
		27,837	29,433	39,139	42,481	32,137
外来	初診療	371	338	384	397	421
	再診療	835	814	700	715	1,777
	投薬	1,335	915	1,199	2,199	218
	注射	655	761	1,485	1,601	622
	処置・手術	1,141	1,813	1,025	1,453	513
	検査	1,787	1,823	2,272	2,372	2,279
	放射線	824	790	1,462	1,603	914
	その他	1,539	1,574	1,632	1,724	896
		8,486	8,828	10,189	12,064	7,640

※地方公営企業年鑑

医療機能指標

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
一般病床	病床利用率 (%)	66.4	69.4	70.7	82.6	88.9
	平均在院日数 (日) (重急性除く)	19.1	17.8	15.9	17.6	15.0
	一日平均入院患者数 (人)	92.9	97.2	99.0	96.2	82.6
	入院単価 (円)	29,330	28,795	30,346	31,531	33,615
回復期リハ病棟	病床利用率 (%)	-	-	-	65.6	88.2
	平均在院日数 (日)	-	-	-	70.2	53.9
	一日平均入院患者数 (人)	-	-	-	24.9	33.5
	入院単価 (円)	-	-	-	23,224	29,817
	一日平均リハビリ単位数 (単位)	-	-	-	2.6	4.3
	紹介率 (%)	-	-	-	48.2	60.8
	新規入院重症患者率 (%)	-	-	-	18.1	26.0
在宅復帰率 (%)	-	-	-	90.3	89.2	
一日平均外来患者数 (人)	372.0	360.8	366.5	364.7	366.2	
外来単価 (円)	6,468	6,793	7,018	7,279	7,640	
年間訪問診療件数 (件)		273	275	326	394	
年間手術件数 (件)	313	299	298	305	260	
紹介率 (%)	8.6	11.2	12.1	14.1	15.7	
逆紹介率 (%)	5.8	7.3	7.5	9.5	12.7	

病院資料

②救急医療に係わる受療者数等

ア) 救急医療受療者の居住地

- ・ 公立森町病院の救急患者受入れ実績は、平成 18 年度受入れ総数 6,363 件に対して平成 19 年度は 6,336 件とほぼ前年並みの患者数を受入れている。その後減少傾向になり平成 22 年度は 5,508 件と平成 19 年度比でおよそ 13%減少している。
- ・ 救急医療の受療者住所別人数は、受入れ患者のうち概ね 70%の患者が森町に住所のある患者である。次いで多いのが袋井市及び掛川市の患者で、人数は横ばいであるが全体数が減少しているため割合は増加傾向にある。しかし、磐田市の患者は減少傾向にある。

イ) 救急医療受療病院

- ・ 近隣市町の救急受療者数は、森町、磐田市、掛川市では平成 19 年度から平成 22 年度にかけて 20%～30%減少しているが、袋井市では同期比 4%増加している。
- ・ 森町の住民の救急医療受療病院は、公立森町病院が平成 19 年度約 80%から平成 22 年度約 87%と 7 ポイント増加した。また、袋井市民病院が平成 19 年度約 14%から平成 22 年度約 6%と半分以下に減少した。
- ・ 公立森町病院受療については、掛川市民が増加している。

尚、このデータは中東遠公立病院での受療患者から計算しているため、中東遠以外の病院等に直接救急で受療した患者数は反映されていない。

中東遠公立病院救急患者受け入れ

		磐田HP	袋井HP	掛川HP	菊川HP	御前崎HP	当院	合計	H22/H19
森町	H19	271	774	48	6	0	4,339	5,438	78.2%
		5.0%	14.2%	0.9%	0.1%	0.0%	79.8%	100.0%	
	H22	286	247	28	6	0	3,683	4,250	
		6.7%	5.8%	0.7%	0.1%	0.0%	86.7%	100.0%	
	H23	223	182	18	5	0	2,727	3,155	
		7.1%	5.8%	0.6%	0.2%	0.0%	86.4%	100.0%	
磐田市	H19	18,070	279	92	24	4	198	18,667	81.8%
		96.8%	1.5%	0.5%	0.1%	0.0%	1.1%	100.0%	
	H22	14,778	249	74	11	9	155	15,276	
		96.7%	1.6%	0.5%	0.1%	0.1%	1.0%	100.0%	
	H23	10,868	199	64	15	7	96	11,249	
		96.6%	1.8%	0.6%	0.1%	0.1%	0.9%	100.0%	
袋井市	H19	2,392	6,316	477	51	5	772	10,013	104.3%
		23.9%	63.1%	4.8%	0.5%	0.0%	7.7%	100.0%	
	H22	2,764	6,576	356	21	5	723	10,445	
		26.5%	63.0%	3.4%	0.2%	0.0%	6.9%	100.0%	
	H23	1,984	4,925	252	22	10	539	7,732	
		25.7%	63.7%	3.3%	0.3%	0.1%	7.0%	100.0%	
掛川市	H19	243	643	9,084	1,102	372	509	11,953	73.6%
		2.0%	5.4%	76.0%	9.2%	3.1%	4.3%	100.0%	
	H22	355	553	6,776	434	151	525	8,794	
		4.0%	6.3%	77.1%	4.9%	1.7%	6.0%	100.0%	
	H23	302	496	5,624	294	100	395	7,211	
		4.2%	6.9%	78.0%	4.1%	1.4%	5.5%	100.0%	

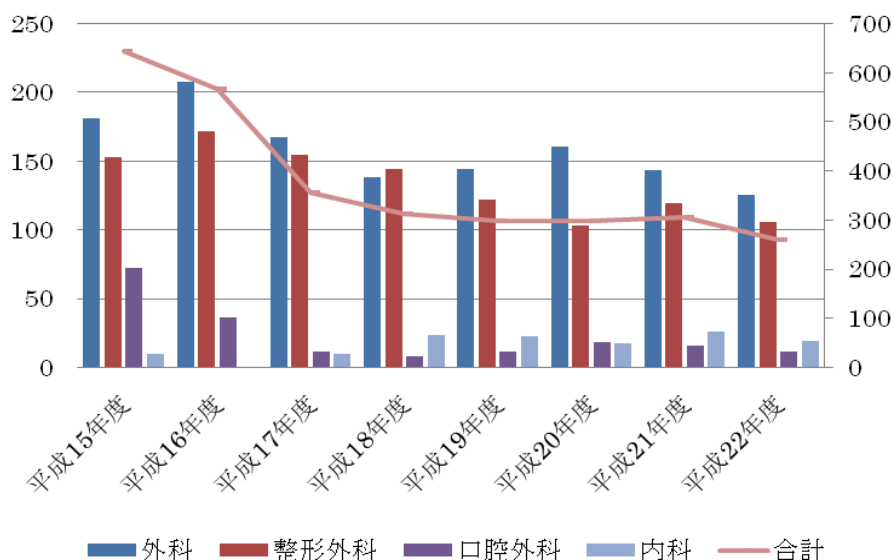
※ H23は4～12月実績

資料：西部保健所

③手術件数の推移

- ・手術総件数は平成15年度の644件をピークに激減し、平成22年度は平成15年度比で約60%減少となった。外科や整形外科は30%減少し、泌尿器、眼科、耳鼻科等は常勤医師が不在となったこともあり手術件数は0である。
- ・全麻及び全麻+硬膜外の麻酔を伴う手術に関しては、平成17年度が105件であったが、平成19年度は70件に減少した。平成22年度は87件に回復している。
- ・急性期一般病院では、手術件数を増加させることが収益増加の最大の方策であるが、医師数が少ない公立森町病院では、重篤な患者の手術を執刀するためには、術前、術後にスタッフを手厚く確保する必要があるため、結果的には経営効率を悪化させることになる。そのため最近では重度な手術は提携した磐田市立総合病院等に紹介し、現在は比較的軽度な手術の執刀に止めているのが現状である。

診療科別手術件数



診療科別手術件数

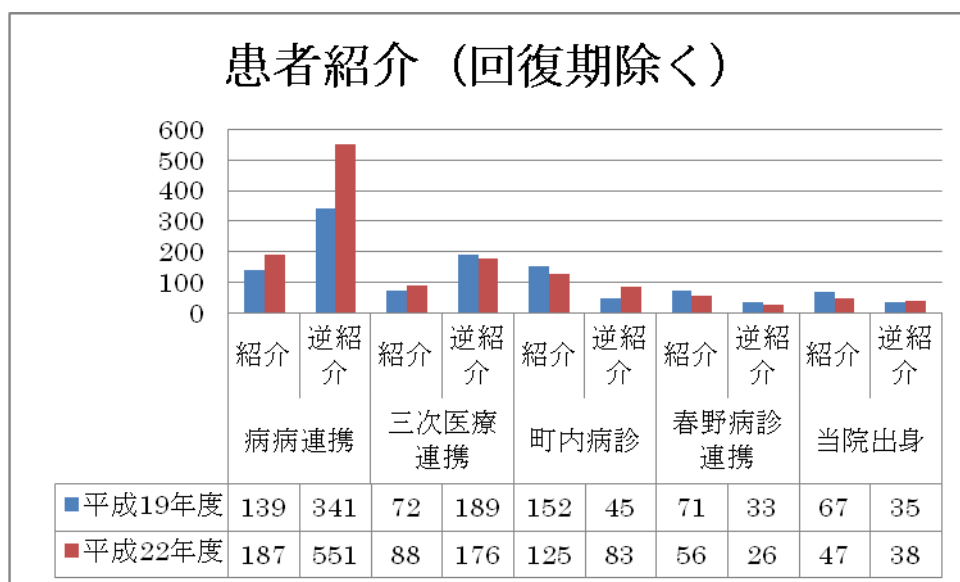
単位 (件)

	外科	整形外科	泌尿器	口腔外科	眼科	耳鼻科	内科	合計
平成15年	181	152	62	72	110	58	9	644
平成16年	207	171	38	36	91	24	0	567
平成17年	167	154	13	11	3	0	9	357
平成18年	138	144	0	8	0	0	23	313
平成19年	141	122	0	11	0	0	22	299
平成20年	160	103	0	18	0	0	17	298
平成21年	143	119	1	15	1	0	26	305
平成22年	125	105	0	11	0	0	19	260

病院資料

④患者紹介件数（急性期）

- ・他院等から紹介を受けた件数は、平成 18 年度、平成 19 年度ともに 1,000 件強の件数でほぼ横這いであったが、平成 22 年度は 1,300 件超まで増加している。また、当院から紹介する逆紹介も各々1,000 件強で同様に横這いであったが、平成 22 年度は 1,500 件超まで増加している。
- ・病病連携では、平成 18 年度・平成 19 年度と平成 22 年度を比較して、紹介・逆紹介何れも総数において大幅に増加している。磐田市立総合病院、掛川市立総合病院からの紹介及び同病院への逆紹介数が大幅に伸びている。
- ・町内の開業医からの紹介は、平成 18 年度から平成 19 年度に増加しているが、平成 22 年度平成 18 年度レベルまで減少している。開業医への逆紹介は増加している。
- ・春野町の診療所からの紹介件数は年々減少している。
- ・当院出身の開業医からの紹介件数は年々減少している。



病院資料

⑤回復期リハビリテーション病棟

- ・平成 21 年度に 3 病棟（47 床）を改修して回復期リハビリテーション病棟（38 床）を開設した。
- ・平成 21 年度の患者 1 人 1 日当たりの診療収入は 23,224 円であったが、平成 22 年 6 月から回復期リハビリ病棟入院基本料 1、重症患者回復病棟加算及びリハビリテーションの充実により平成 22 年度は 29,817 円と約 28%増加した。
- ・さらに平成 23 年 11 月から休日リハビリ提供加算、リハビリ充実加算を算定している。
- ・一日入院患者数は、平成 21 年度は開設した年度でもあり 24.9 人、病床利用率 65.6%と少なかったが、平成 22 年度は 33.5 人、病床利用率で 88.2%まで増加した。他院からの転院患者の割合も平成 21 年度の 48.2%から平成 22 年度 60.8%と増加した。

- ・平均在院日数は、平成 21 年度 70.2 日であったが、平成 22 年度は 53.9 日とおよそ 16 日短縮した。これは、リハビリテーションを患者 1 人 1 日当たりの単位数を 2.6 単位から 4.3 単位に増加させた影響があったと思われる。

(2) 森町家庭医療クリニックの概要

- ・平成 22 年 4 月、森町、磐田市、菊川市は、「中東遠圏域内に家庭医療専門医を養成し、地域のプライマリケアの充実」「家庭医がグループで診療による地域の救急医療、保健予防、福祉・在宅医療の充実」を目的とした家庭医養成事業を始めた。
- ・平成 23 年 12 月、プライマリケアを行う医療機関、家庭医養成の研修施設として開設した。

名称 : 森町家庭医療クリニック
 所在地 : 静岡県周智郡森町草ヶ谷 387 番地の 1
 施設規模 : 延床面積 1416.56 m²、建築面積 745.83 m²
 構造 : 鉄筋コンクリート造 2 階建
 開設年月日 : 平成 23 年 12 月 1 日
 医師数 : 指導医師 2 名、レジデント 5 名 (平成 24 年 2 月 29 日現在)
 診察室 : 12 室
 機関指定 : 保険医療機関 生活保護法等指定医療機関 労災保険指定医療機関

(3) 森町訪問看護ステーション

名称 : 森町訪問看護ステーション
 所在地 : 静岡県周智郡森町草ヶ谷 387 番地の 1
 開設年月日 : 平成 11 年 10 月 1 日

沿革

平成 11 年 10 月 公立森町病院訪問看護室が森町訪問看護ステーションとなる。

平成 21 年 9 月 居宅介護支援事業所になる。

平成 23 年 12 月 公立森町病院内から森町家庭医療センター 2 階に移る。

実績	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
年間訪問看護件数	3,724	6,723	30,973	41,418	
一日平均訪問看護件数	15.2	15.0	13.6	15.4	18.4
訪問看護単価	7,627	41,792	67,838	53,514	
年間ケアプラン作成件数	-	-	-	14	53

病院資料

Ⅲ. 改革プランの方向性

1. 森町病院事業の果たすべき役割

当町の医療供給体制は、平成23年12月に森町家庭医療クリニックが開設したものの人口10万人対指数で医科診療所が県下で三番目に少なく、歯科診療所が県下で二番目に少ない。また、有床施設は公立森町病院のみで、人口10万人対指数での病床数は県下で七番目に少なく全国平均のおよそ50%程度である。

高齢化率は10年前と比較して3.6%高くなり、県よりおよそ4ポイント高い27.7%である。また、75歳以上の率は10年前と比較して5.4%高くなり、県よりおよそ5ポイント高い16.2%と75歳以上の割合の増加が著しい。

この状況の中、町民誰もが健やかに暮らせるよう、地域に必要な医療を提供することが使命と考え、公立森町病院、森町家庭医療クリニック及び森町訪問看護ステーションが連携して、地域に密着した患者さまの生活、人生、価値観を大切にした医療を行っていく。特に需要の拡大が予想される在宅医療は密接な連携が必要不可欠となる。また、患者さまに切れ目のない医療を効率的に提供するため、公立森町病院が中心となって高次機能病院、療養型病院、介護施設、診療所などとの連携を深めていく。

引き続き地域に必要な医療を提供し、安定経営を実現し、地域に根ざした信頼される医療機関であり続ける必要がある。

【果たすべき役割】

(1) 一般急性期及び亜急性期の入院医療の提供

急性期機能及び急性期経過後の回復期リハビリテーションを中心とした亜急性期機能の提供を行う。

(2) 外来医療の提供

専門的な医療を中心に提供する。

「かかりつけ医」として包括的及び継続的な医療を提供する。

(3) 在宅医療の提供

在宅療養を可能にする訪問診療、往診、訪問看護を提供する。

(4) 地域医療連携のセンター的機能の充実

質の高い医療を地域内で効率的に提供するため、病院、診療所、介護施設等との連携を充実させ、地域医療連携のセンター的役割を果たす。

(5) 救急医療体制の確保

初期救急医療から入院治療を必要とする患者に入院救急医療（第2次救急医療）を行う。

(6) 小児医療体制の確保

一次小児医療から二次小児医療の急性期までの診断・治療を行う。

(7) 災害時医療の確保

町指定の救護病院であり、災害発生時に重症患者の広域医療搬送への対応を行う。中等症及び軽症患者の受入、処置を行う。

(8) 山間地医療の確保

医療機関を有しない山間地（三倉、天方）（へき地）への医療を確保する。

2. 一般会計負担の基本的考え方

公営企業である病院事業会計への一般会計からの負担は、地方公営企業法第17条の2（経費の負担の原則）第1項及び地方公営企業法施行令第8条の5並びに地方公営企業法施行令附則第14項で「その性質上当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費」、「当該地方公営企業の性質上能率的な経営を行ってもなお、その経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費」と規定されており、一般会計が出資、長期の貸付け、負担金の支出その他の方法により負担するものと定められている。この負担の基準については、毎年度、総務省の通知「地方公営企業繰出金について」に示されている。

町からの繰入金は、繰出し基準に基づき、「建設改良に要する経費」、「へき地医療の確保に要する経費」、「救急医療の確保に要する経費」、「保健衛生行政事務に要する経費」、「医師及び看護師等の研究研修に要する経費」、「高度医療に要する経費」、「院内保育所の運営に要する経費」、「建設改良費の企業債元金・利息」等の経費に充てている。なお、森町病院事業は、企業会計である繰出し基準に基づく繰入により病院経営を安定化させることが原則であるが、町内の医療供給体制と高齢化の進行という地域特性もあり医師確保、訪問診療、訪問看護といった医療に対する負担も大きいため、基準外の繰入も受けることで、現状での経営が成り立っている。

森町病院事業は、総務省の基準に基づく繰出金（繰出基準分）と、医師確保、訪問診療、訪問看護などの地域特性による負担の繰出金（政策医療分）を受け経営の安定を図る。

一般会計からの繰入金推移（単位：百万円）

	H18	H19	H20	H21	H22
繰入金実績	510	630	580	560	540
うち基準外	217	313	223	267	179

IV. 経営改革の取り組み

1. 機能面

1. 1 一般急性期及び亜急性期の入院医療の充実

1. 1. 1 住民、地域に密着した良質な一般急性期入院医療を提供する。

1. 1. 2 回復期リハビリテーション病棟（38床）、亜急性期病床の急性期経過後の亜急性期医療を充実させ在宅復帰支援を行う。

1. 2 外来医療の充実

1. 2. 1 各診療科における専門的で良質な医療を専門職種のチーム医療により行う。

1. 2. 2 「かかりつけ医」として、こどもから高齢者の心身を包括的に、予防から治療・介護を継続的にグループで診療を行う。

1. 3 在宅医療の拡充

1. 3. 1 自宅などの在宅で療養する患者への訪問診療、往診を行う。

1. 3. 2 自宅などの在宅で療養する患者への訪問看護を行う。

1. 3. 3 自宅などの在宅で療養する患者の急性増悪の際の緊急入院、緩和ケアなどの対応を行う。

1. 3. 4 病院、クリニック及び訪問看護ステーションで機能補完を行う。

1. 4 地域医療連携の充実

1. 4. 1 病院は高次機能病院との病病連携、診療所との病診連携、介護施設との連携を図る。特に高次機能病院への紹介患者の戻し紹介について重点的に連携を図る。

1. 4. 2 クリニックは病院の連携は基より近隣急性期病院との病診連携を図る。

2. 組織面

2. 1 地域医療連携室の機能強化

2. 1. 1 院外活動により連携を充実させて、急性期の紹介患者の継続的かつ安定的確保を図る。

2. 1. 2 院外活動により連携を充実させて、急性期経過後の紹介患者の継続的かつ安定的確保を図る。（回復期リハビリテーション病棟患者の確保）

2. 2 病院事業内会議・委員会の拡充

2. 2. 1 診療報酬管理委員会の設置により入院、外来収益の確保、管理を行い、安定的収益確保を図る。

2. 2. 2 クオリティインジケータ－導入委員会の設置により医療の質の数値化及び管理を行い、医療の質向上を図る。

2. 2. 3 電子カルテ委員会の設置により病院の規模、機能及び運用に見合うシステムの導入検討を行う。

2. 2. 4 森町病院事業連絡調整会議の設置により病院、クリニック及びS Tの連携強化を図る。

2.3 行政・病院事業の連携会議

- 2.3.1 森町地域医療連携会議において、小規模多機能施設の設置検討、地域包括医療・ケア体制構築の検討を行う。

3. 運営面

3.1 森町家庭医療クリニックの安定的運営

- 3.1.1 家庭医及び家庭医療クリニックの広報を強化し、患者確保に努める。
- 3.1.2 家庭医養成（教育）と経営の両立を図る。
- 3.1.3 訪問診療、往診の体制構築及び実施。

3.2 一般病棟（急性期）及び回復期リハビリテーション病棟の安定的運営

- 3.2.1 地域医療連携室の活動による紹介患者の安定的に確保する。
- 3.2.2 外来からの予約入院を確保する。
- 3.2.3 入退院コントロール体制の検討を行う。

3.3 DPC（診断群分類別包括評価）の導入

- 3.3.1 安定的収益の確保のため管理の徹底を行う。
- 3.3.2 他のDPC病院の診療内容をベンチマークとして診療内容の比較検討を行う。
- 3.3.3 ジェネリック薬品の採用による薬剤費削減を行う。
- 3.3.4 クリニカルパスの再整備を行う。

3.4 クオリティインジケータの導入

- 3.4.1 医療の質の数値化を行う。
- 3.4.2 クオリティインジケータによる職員の業務の質向上、モチベーションアップ及び組織力向上を図る。

3.5 情報化の推進

- 3.5.1 業務の迅速化、効率化、情報の一元化、共有化のため、電子カルテの導入を行う。

3.6 目標設定及び管理

- 3.6.1 定量的目標設定（アクションプラン）及び目標管理の徹底により経営効率向上を図る。
- 3.6.2 目標、達成のグラフ、図式による可視化により、職員の達成感とやりがいを醸成する。

4. 人材面

4.1 職員の確保対策

- 4.1.1 職員の働きやすい病院づくりを行う。
- 4.1.2 安全性の確保、患者サービスの向上、収益の増加を図るため、医師、看護師を確保し、状況に応じた適切な人員配置を行う。

V. 事業計画

1. 主要施策

No	施策名	実施時期
1	DPC（診断群分類別包括評価）導入【病院】	平成24年4月
2	クオリティインジケータ導入 【病院、クリニック、ST】	平成24年4～12月
3	電子カルテ導入【病院】	平成25年度
4	業務改善活動（QC活動）導入 【病院、クリニック、ST】	平成25年度

2. 設備投資計画

単位：百万円

項目	24年度	25年度	26年度
リハビリ科スタッフルーム増築【病院】	17		
電子カルテ導入【病院】		220	90
医療機器・備品購入【病院、クリニック、ST】	96	33	54

※5百万円以上の建物、機器、備品、設備のみ記載

3. 常勤職員数計画

単位：人

所属	職種	23年度 見込み	24年度	25年度	26年度
診療部	医師（歯科医師含む）	12	12	13	12
	指導医、フェロー（クリニック）	2	3	4	2
	事務	1	1	1	0
診療技術部	薬剤師、検査技師、放射線技師、 栄養士、リハビリ療法士	42	43	43	44
	事務	4	4	4	5
看護部	保健師、看護師（准看護師含む）	103	107	107	99
	MA、MSW、視能訓練士、歯科 衛生士、クラーク	38	40	40	43
事務局		26	26	26	34
合計		228	236	238	239

※平成23年度は、平成24年3月31日見込み

※非正規常勤職員を含む

※指導医は森町所属分のみカウント

4. 医療機能指標

		23年度 見込	24年度	25年度	26年度
一般 病 床	病床利用率 (%)	87.4	89.0	86.0	90.9
	平均在院日数 (日) (亜急性除く)	14.8	14.8	14.8	14.8
	一日平均入院患者数 (人)	81.3	82.8	80.0	84.5
	入院単価 (円)	36,543	36,550	38,000	34,350
回 復 期 リ ハ	病床利用率 (%)	87.6	92.5	92.6	95.0
	平均在院日数 (日)	50.0	50.0	50.0	50.0
	一日平均入院患者数 (人)	33.3	35.2	35.2	36.1
	入院単価 (円)	33,635	34,650	34,650	35,150
	紹介率 (%)	66.5	70.0	70.0	70.0
	新規入院重症患者率 (%)	23.0	23.0	30.0	30.0
一日平均外来患者数 (人) (在宅含む)		368.5	370.0	340.0	330.0
外来単価 (円) (在宅除く)		7,600	7,600	7,760	8,650
病院+ クリニック	月間訪問診療件数 (件) (往診含む)	33.9	45	75	75
	月間在宅時医学総合管理料件数 (在宅療養計画に基づき月2回訪問)	4.4	10.0	20.0	20.0
年間手術件数 (件)		232	240	240	300
紹介率 (%)		17.2	18.0	21.0	27.0
逆紹介率 (%)		13.4	14.0	15.5	16.0
月間健診件数 (健診・ドック室扱い)		220.0	230.0	235.0	250.0
一件平均健診収益 (健診・ドック室扱い)		14,327	14,400	14,400	14,800
クリニック	一日平均患者数 (在宅除く) (健診、予防接種含む)	19.3	44.0	75.0	35.0
	単価 (円) (在宅除く)	4,825	5,000	5,500	7,100
ST	一日平均訪問看護件数 (件)	18.0	21.0	23.0	26.0
	訪問看護単価 (円)	8,907	8,900	9,350	9,000

5. 経営指標

	23年度 見込	24年度	25年度	26年度
医業収支比率 (%)	81.9	90.4	92.5	87.0
経常収支比率 (%)	93.4	98.5	100.3	95.0
職員給与費対医業収益比率 (%)	65.7	67.3	67.0	69.7
材料費対医業収益比率 (%)	18.1	11.1	10.9	12.1
委託費対医業収益比率 (%)	20.0	15.3	16.1	16.9

6. 財務計画

(1) 損益計画

単位：百万円

	23年度 見込	24年度	25年度	26年度
総 収 益	2,687	2,803	2,840	2,861
医 業 収 益	2,306	2,437	2,485	2,497
入院収益	1,482	1,550	1,555	1,573
外来収益	724	785	812	800
うち病院	658	660	639	649
うちクリニック	8	54	76	45
うちST	39	46	52	66
うち在宅	19	25	45	40
その他医業収益	100	102	118	124
うち健診（健診・ドック室扱い）	38	40	41	41
医 業 外 収 益	381	366	355	362
国県補助金	0	0	0	5
他会計負担金	371	357	346	348
保育園収益	2	1	1	1
その他医業外収益	8	8	8	8
特 別 利 益	0	0	0	2
総 費 用	2,815	2,851	2,837	3,000
医 業 費 用	2,640	2,697	2,685	2,854
職員給与費	1,608	1,639	1,664	1,730
材料費	274	270	270	300
経 費	563	583	598	610
うち委託費	355	373	400	420
減価償却費	184	188	135	200
資産減耗費	5	5	5	5
研究研修費	6	12	13	9
医 業 外 費 用	169	148	146	140
支払利息	96	94	87	84
保育園運営費	10	11	11	11
繰延勘定償却			5	0
雑支出	63	43	43	45
特 別 損 失	6	6	6	6
医 業 利 益	△ 334	△ 260	△ 200	△ 357
経 常 利 益	△ 122	△ 42	9	△ 135
純 利 益	△ 128	△ 48	3	△ 139

一般会計からの繰入金

(収益的) 他会計繰入金	371	357	346	348
(資本的) 他会計負担金	129	143	154	162
他会計繰入金合計	500	500	500	510

(2) 資金計画

単位：百万円

	23年度 見込	24年度	25年度	26年度
業務活動収支	41	139	148	66
投資活動収支	△ 138	48	△103	47
財務活動収支	65	△135	3	△156
収支差額	△ 32	52	48	△43
前年度末資金繰越高	75	43	66	131
次年度資金繰越高	43	95	114	88

※業務活動収支・・・医業損益計算の対象となった取引等、3条繰入金による収支

※投資活動収支・・・固定資産の取得及び売却等、4条繰入金による収支

※財務活動収支・・・借入金の調達及び返済による収支

VI. 実施状況の点検・評価・公表

1. 改革プランの点検・評価・見直し

基本計画、アクションプランの実施状況については、年1回以上の点検を行い、実績と計画の乖離を評価し、毎年度アクションプランの見直しを行う。また、平成26年3月時点で目標達成が著しく困難な場合、基本計画から抜本的に改定する。

2. 改革プランの公表

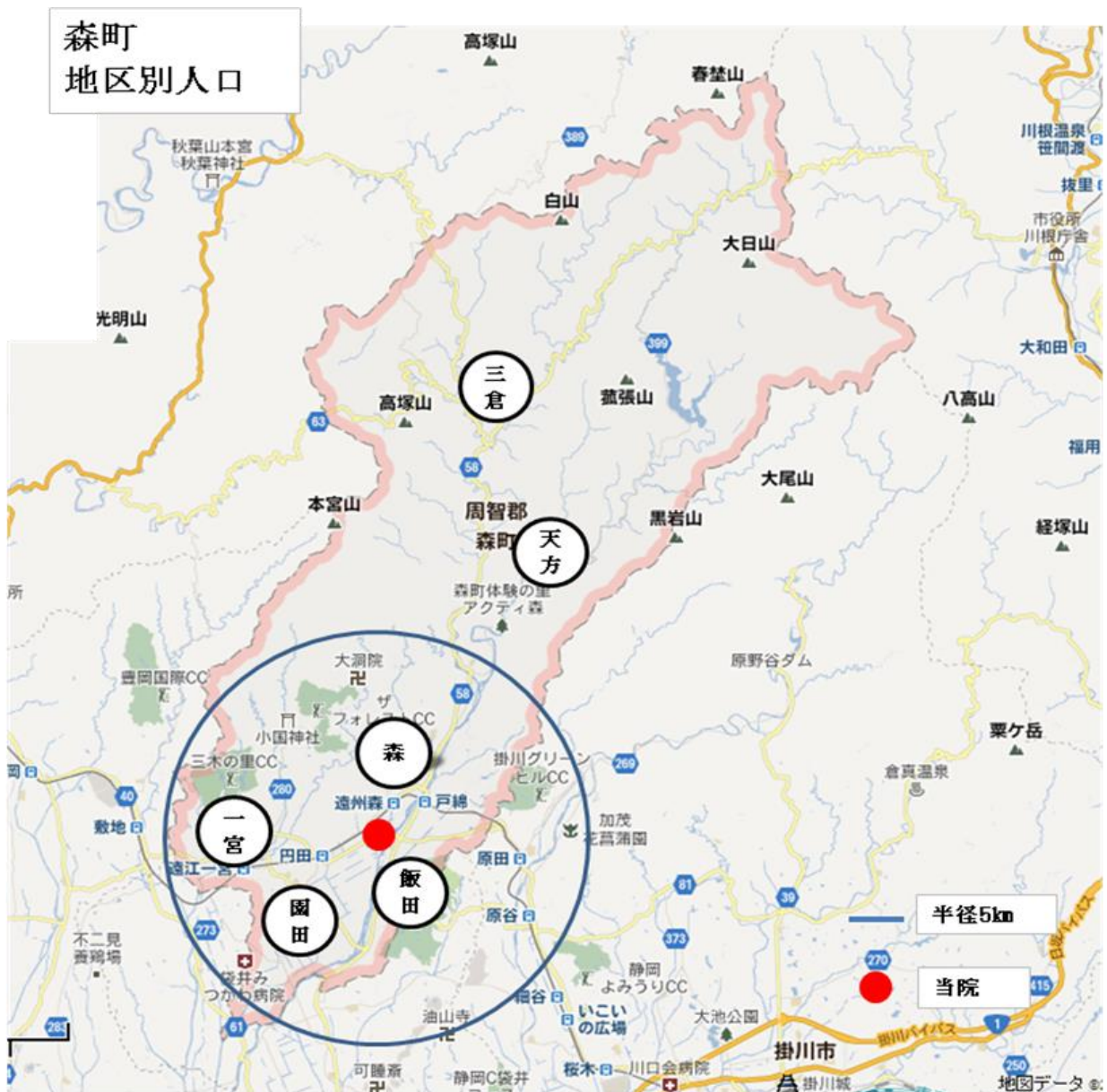
改革プラン策定時、実施状況の点検・評価・見直し後速やかに以下の方法により住民に公表します。

- (1) 「広報もりまち」、病院だより「春夏秋冬」で公表
- (2) 公立森町病院ホームページで公表
- (3) 院内掲示板「コミュニケーションボード」に掲示

資料

- (資料 1) 森町地区別人口
- (資料 2) 森町の医療機関 MAP
- (資料 3) 近隣急性期病院 MAP
- (資料 4) 近隣回復期リハビリテーション病棟 MAP
- (資料 5) 近隣在宅療養支援診療所・病院 MAP
- (資料 6) 公立森町病院一般病床疾患別 (MDC2) 退院患者 (2011.4～12月) 住所別
- (資料 7) 公立森町病院一般病床疾患別 (MDC2) 退院患者 (2011.4～12月) 年齢別
- (資料 8) 近隣市町患者 MAP (H23.4～H24.1)
- (資料 9) 近隣市町 (地区別) 患者 MAP (H23.4～H24.1)
- (資料 10) 回復期リハビリテーション病棟市町別病院別患者数 (H23.4～H24.1)
- (資料 11) 在宅医療受療年齢
- (資料 12) 紹介患者の件数 (回復リハビリテーション病棟除く)
- (資料 13) 「地域医療町民アンケート調査」集計

(資料 1)



H22国勢調査

	計	0～14歳	15～64歳	65歳以上	高齢化率	75歳以上	後期高齢者率
三倉	942	50	469	423	44.9%	266	28.2%
天方	1,335	167	702	466	34.9%	261	19.6%
森	7,173	916	4,265	1,992	27.8%	1,130	15.8%
一宮	1,891	248	1,107	536	28.3%	351	18.6%
園田	3,971	479	2,540	952	24.0%	581	14.6%
飯田	4,119	571	2,530	1,018	24.7%	561	13.6%
計	19,431	2,431	11,613	5,387		3,150	

(資料2) 森町の医療機関 MAP



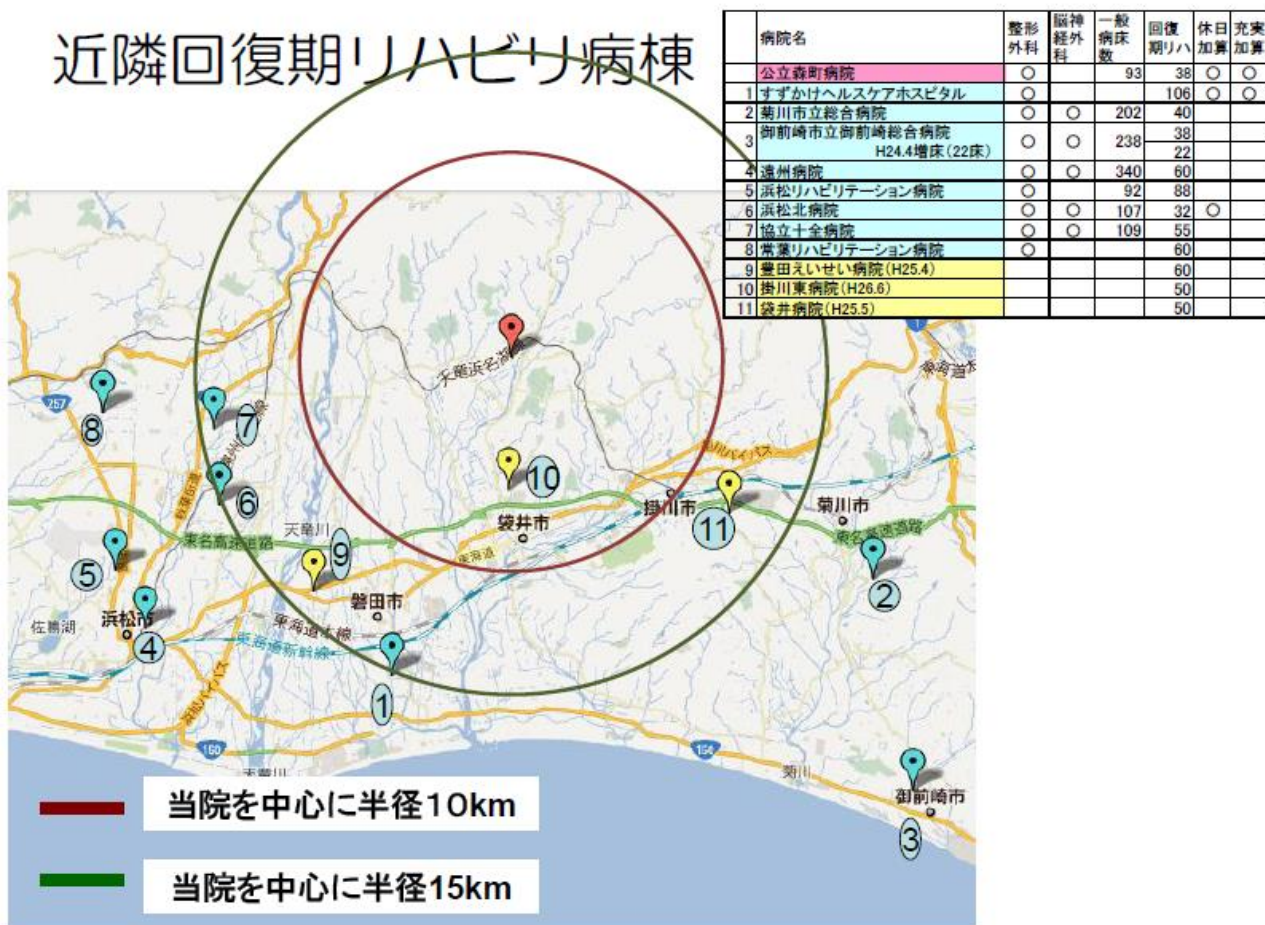
(資料3)

近隣急性期病院



(資料 4)

近隣回復期リハビリ病棟



(資料 5) 近隣在宅療養支援診療所・病院

(森町、掛川市、袋井市、磐田市、天竜区)

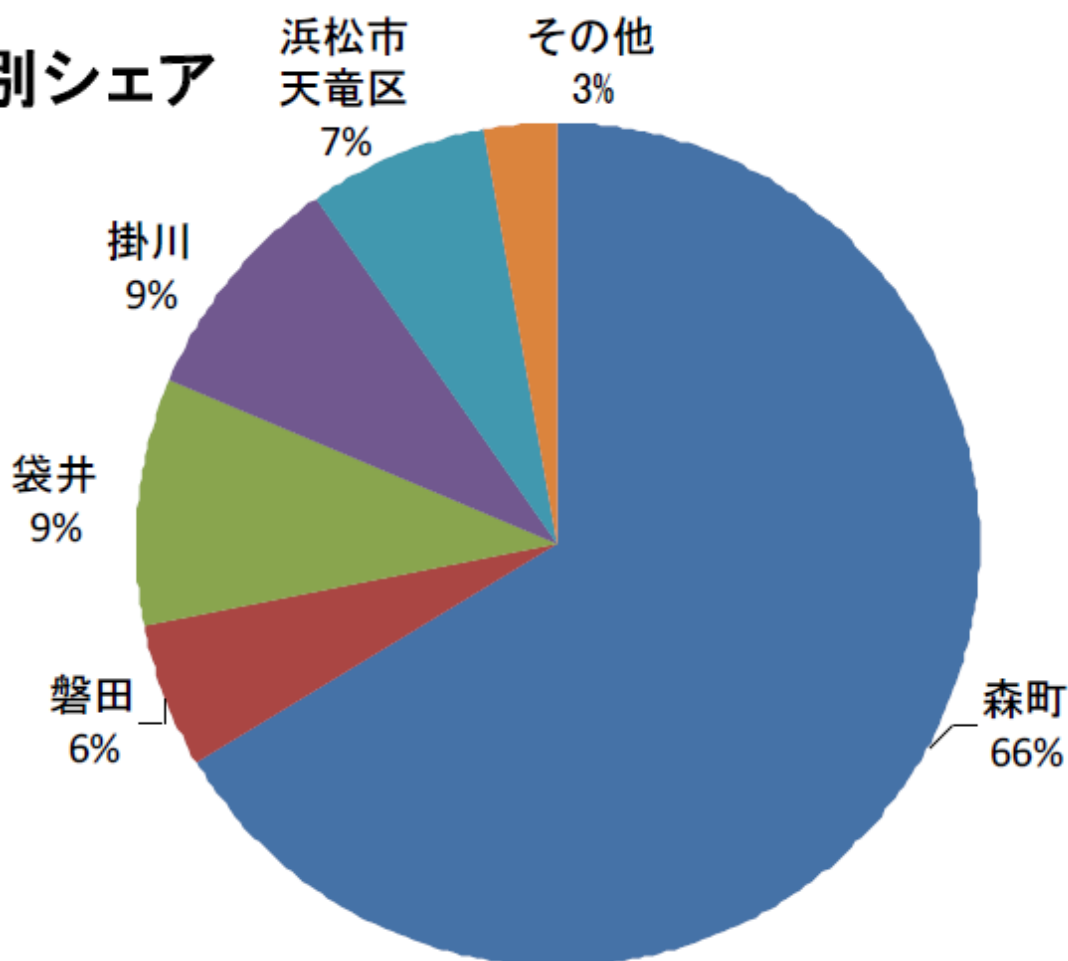


(資料 6)

公立森町病院 一般病床疾患別 (MDC2) 退院患者 (2011.4~12)

MDC2	症例数	構成比	森町	磐田	袋井	掛川	浜松市 天竜区	その他
01:神経系疾患	88	6.8%	48	6	14	5	10	5
03:耳鼻咽喉科系疾患	33	2.6%	21			9	3	
04:呼吸器系疾患	230	17.8%	146	18	26	18	15	7
05:循環器系疾患	60	4.7%	44	3	2	6	4	1
06:消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	337	26.1%	217	18	25	40	24	13
07:筋骨格系疾患	38	2.9%	26	2	1	2	6	1
08:皮膚・皮下組織の疾患	17	1.3%	14		1	1	1	
09:乳房の疾患	2	0.2%	2					
10:内分泌・栄養・代謝に関する疾患	70	5.4%	51	3	7	4	5	
11:腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	60	4.7%	43	3	7	3	3	1
12:女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	3	0.2%	2					1
13:血液・造血器・免疫臓器の疾患	16	1.2%	14		1		1	
15:小児疾患	34	2.6%	21	1	5	5	2	
16:外傷・熱傷・中毒	243	18.9%	164	16	18	22	16	7
17:精神疾患	15	1.2%	11		2	1	1	
18:その他	25	1.9%	18	1	2	2	1	1
xx:DPC対象外	18	1.4%	15			2	1	
シェア	1289	100.0%	857	71	120	114	90	37
			66.5%	5.5%	9.3%	8.8%	7.0%	2.9%

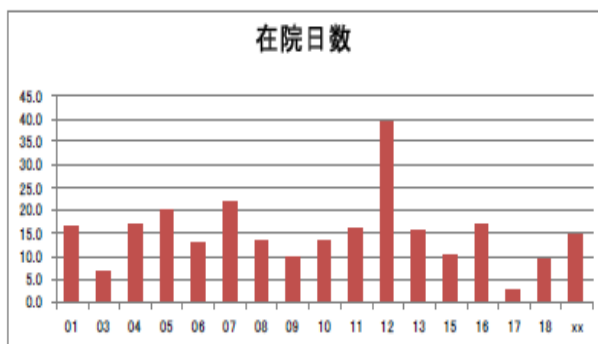
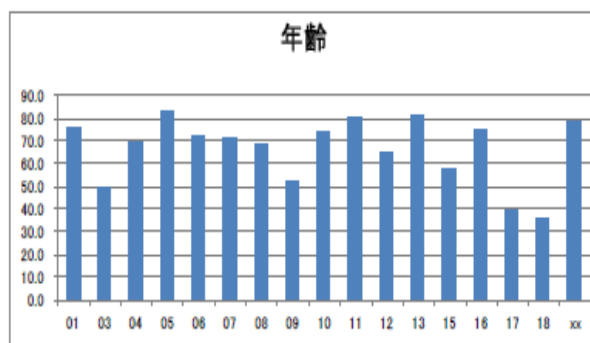
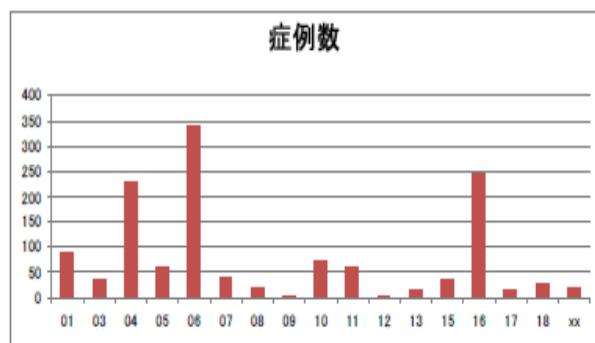
住所別シェア



(資料 7)

公立森町病院 一般病床疾患別（MDC2）退院患者 （2011.4～12）

MDC2	症例数	年齢	在院日数
01:神経系疾患	88	76.1	16.5
03:耳鼻咽喉科系疾患	33	49.2	6.6
04:呼吸器系疾患	230	69.5	16.9
05:循環器系疾患	60	82.8	20.1
06:消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	337	71.8	12.8
07:筋骨格系疾患	38	70.8	21.4
08:皮膚・皮下組織の疾患	17	67.8	13.1
09:乳房の疾患	2	52.0	9.5
10:内分泌・栄養・代謝に関する疾患	70	73.6	12.9
11:腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	60	79.7	16.0
12:女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	3	65.3	39.3
13:血液・造血器・免疫臓器の疾患	16	80.8	15.4
15:小児疾患	34	57.9	9.9
16:外傷・熱傷・中毒	243	74.5	17.0
17:精神疾患	15	39.8	2.5
18:その他	25	35.6	9.2
xx:DPC対象外	18	78.3	14.4
	1289		

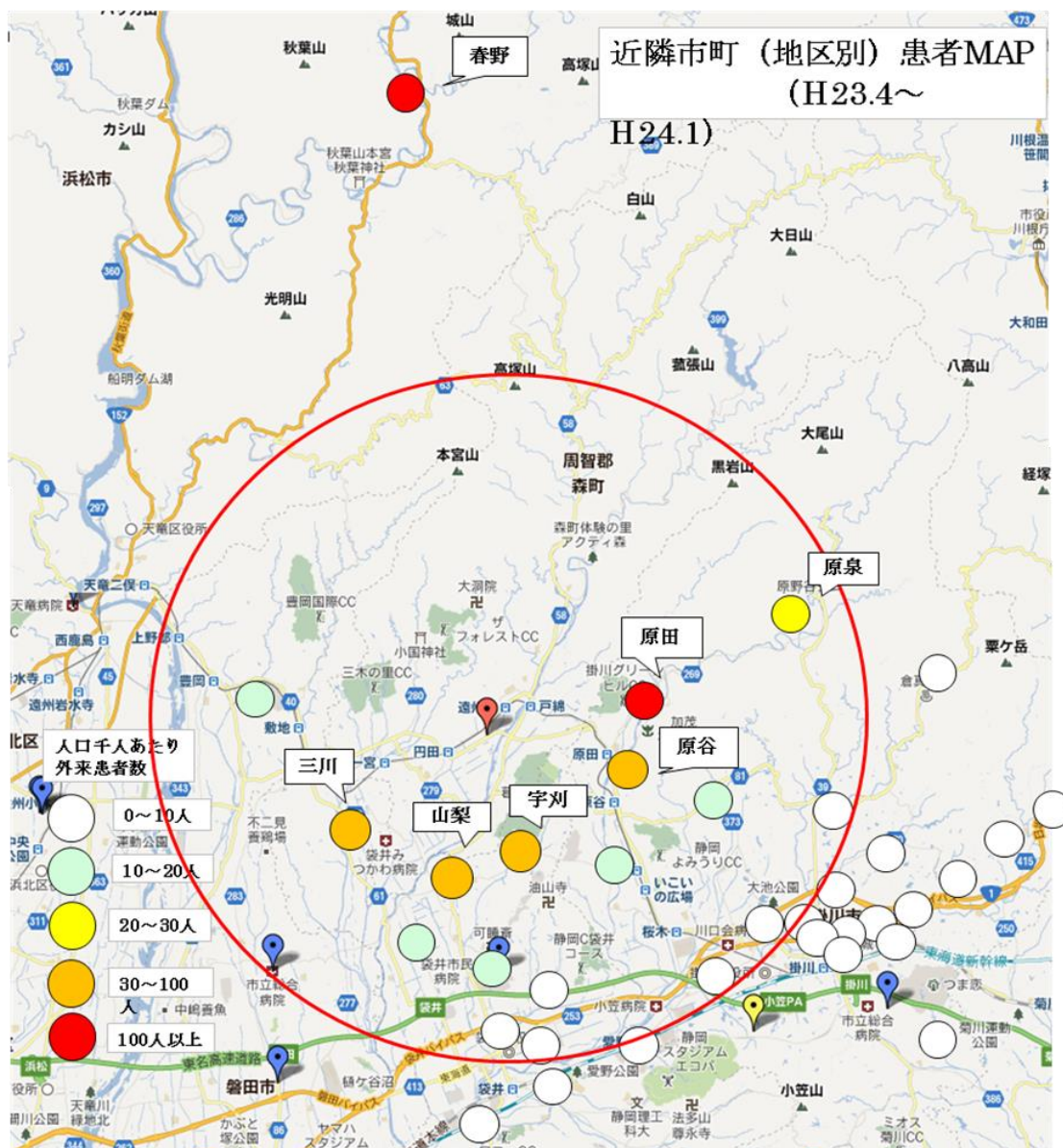


(資料8) 近隣市町患者 MAP (H23.4~H24.1)



	H23.4~H24.1			
	人口	外来患者実数	急性期入院患者実数	外来/急性期入院
森町	19,435	7,567	950	8.0
磐田市	168,625	314	97	3.2
うち旧豊岡村	11,510	164	48	3.4
袋井市	84,846	1,069	132	8.1
うち旧袋井市	65,753	994	121	8.2
掛川市	116,363	1,163	125	9.3
うち旧掛川市	83,706	1,139	125	9.1
天竜区	33,957	558	92	6.1
うち旧春野町	5,178	521	82	6.4

(資料 9)



近隣市町(地区別)来院患者(H23.4~H24.1)

掛川市	人口	外来患者実数	人口千人当たりの外来患者数	急性期入院患者実数	他院から回復期
第一地区	3,684	4	1.1	2	0
第二地区	1,171	1	0.9	1	1
第三地区	4,198	13	3.1	4	1
第四地区	1,365	2	1.5	0	0
第五地区	7,560	39	5.2	4	2
南郷地区	5,219	15	2.9	2	2
西南郷	5,460	14	2.6	4	3
上内田	2,413	2	0.8	0	0
西山口	7,560	25	3.3	7	1
東山口	3,014	0	0.0	0	0
日坂	1,194	8	6.7	2	1
東山	522	0	0.0	0	0
粟本	6,001	14	2.3	5	5
城北	3,994	18	4.5	2	1
倉真	1,760	9	5.1	6	0
西郷	5,885	47	8.0	18	4
原泉	580	17	29.3	3	2
原田	1,821	376	206.5	41	5
原谷	4,157	308	74.1	39	1
桜木	11,316	146	12.9	13	6
和田岡	3,190	63	19.7	7	4
曾我	3,382	18	5.3	5	4

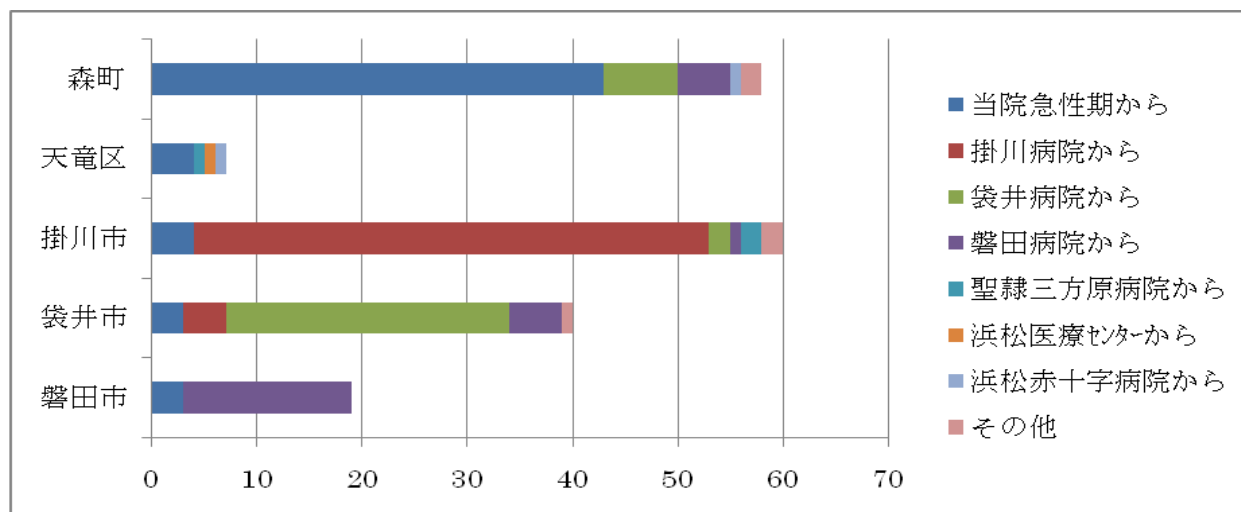
袋井市	人口	外来患者実数	人口千人当たりの外来患者数	急性期入院患者実数	他院から回復期
南	6,230	41	6.6	16	1
高南	2,214	21	9.5	1	1
豊愛	8,457	44	5.2	3	1
西	5,217	21	4.0	2	0
田原	1,427	12	8.4	2	1
北	12,784	177	13.8	20	4
東	7,285	65	8.9	5	1
今井	3,848	48	12.5	8	3
三川	3,072	154	50.1	22	2
山梨	5,945	210	35.3	38	8
宇列	5,366	201	37.5	15	6

磐田市・春野	人口	外来患者実数	人口千人当たりの外来患者数	急性期入院患者実数	他院から回復期
豊岡	11,510	164	14.2	48	6
春野	5,178	521	100.6	82	2

(資料 10)

回復期リハビリテーション病棟地区別患者数(H23.4～H24.1入院)

	当院急性期から	掛川病院から	袋井病院から	磐田病院から	聖隷三方原病院から	浜松医療センターから	浜松赤十字病院から	その他	計
磐田市	3	0	0	16	0	0	0	0	19
袋井市	3	4	27	5	0	0	0	1	40
掛川市	4	49	2	1	2	0	0	2	60
天竜区	4	0	0	0	1	1	1	0	7
森町	43	0	7	5	0	0	1	2	58
計	57	53	36	27	3	1	2	5	184



(資料 11) 在宅医療受療年齢

年齢階級別にみた在宅医療

	平成17年度			
	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問
総数	64.8	24.5	34.5	5.9
0～14歳	0.6	0.6	0.0	0.0
15～34歳	1.7	1.2	0.3	0.1
35～64歳	7.2	3.7	2.4	1.1
65歳以上	55.3	19.0	31.7	4.7
(再掲)				
70歳以上	52.6	17.7	30.5	4.4
75歳以上	48.0	16.0	28.3	3.8
構成比	74.1%	65.3%	82.0%	64.4%

資料:患者調査(H17)

単位:千人

	平成20年度				
	在宅医療	対H17	往診	訪問診療	医師以外の訪問
総数	98.7	152.3%	28.8	56.8	13.2
0～14歳	0.9	150.0%	0.5	0.3	0
15～34歳	2.2	129.4%	1.6	0.3	0.2
35～64歳	8.8	122.2%	4.2	2.9	1.7
65歳以上	86.6	156.6%	22.3	53.1	11.2
(再掲)					
70歳以上	82.7	157.2%	20.7	51.4	10.5
75歳以上	76.3	159.0%	18.7	48.3	9.2
構成比	77.3%	—	64.9%	85.0%	69.7%

資料:患者調査(H20)

年齢階級別にみた訪問診療・訪問看護患者(H23.12)

	公立森町病院 訪問診療	森町訪問看護ST 訪問看護
総数	31	73
0～14歳	0	9
15～34歳	0	
35～64歳	2	
65歳以上	29	64
(再掲)		
70歳以上	28	59
75歳以上	26	52
構成比	83.9%	71.2%

(資料 12)

紹介患者の件数(回復期除く)

	他院から紹介			当院から紹介			
	H18	H19	H22	H18	H19	H22	
病 病 連 携	磐田市立総合病院	18	44	79	82	120	259
	袋井市民病院	89	81	68	198	158	174
	掛川市立総合病院	23	10	34	31	29	85
	天竜病院	11	4	6	19	34	20
	浜松赤十字病院	0	0	0	0	0	13
	小計	141	139	187	330	341	551
二 次 医 療	聖隷浜松病院	12	10	19	33	43	35
	聖隷三方原病院	19	14	22	26	38	25
	浜松医大付属病院	51	46	47	104	101	116
	浜松医療センター	2	2	0	5	7	0
	小計	84	72	88	168	189	176
町 内 病 診 連 携	山崎医院	16	24	0	5	9	13
	小林医院	12	15	11	11	8	17
	岩谷医院	69	91	86	10	17	34
	西村医院	8	13	17	7	2	13
	森の家クリニック	5	9	0	6	9	0
	松ヶ谷診療所	0	0	11	0	0	6
	小計	110	152	125	39	45	83
春 野 病 診 連 携	岡本医院	22	24	12	16	5	0
	小澤医院	16	4	0	10	10	0
	浅倉医院	20	22	14	4	4	6
	春野診療所	18	9	17	11	6	14
	小泉医院	16	12	13	10	8	6
	小計	92	71	56	51	33	26
当 院 出 身	志村内科医院	28	18	17	12	7	7
	大須賀医院	33	40	11	18	17	11
	でんだ整形外科	10	7	0	10	9	11
	あつみクリニック	1	0	0	2	1	0
	おおるり眼科	0	1	0	0	1	0
	みのる整形外科	0	1	0	0	0	0
	月見の里クリニック	0	0	19	0	0	9
	小計	72	67	47	42	35	38
療 養 ・ 老 健	袋井みつかわ病院	12	9	29	15	20	43
	白梅豊岡病院	31	50	52	32	20	54
	風の杜	104	98	104	50	47	78
	袋井ケアセンター	35	31	16	12	11	13
	たんより	0	0	23	0	0	21
	その他	25	26	69	32	40	133
	小計	207	214	293	141	138	342
歯 科 連 携	山本歯科医院	31	30	9	3	1	0
	山田歯科医院	17	11	11	0	0	3
	仲町歯科医院	30	30	36	0	1	9
	その他	9	6	43	2	1	23
	小計	87	77	99	5	3	35
その他	238	268	420	236	255	332	
合 計	1,031	1,060	1,315	1,012	1,039	1,583	

(資料 13)

「地域医療町民アンケート調査」集計

問1. あなたの性別を教えてください。

	回答数	構成比
1. 男	131	48.2%
2. 女	141	51.8%
無回答	5	-
計	277	100.0%

問2. あなたの年齢を教えてください。

	回答数	構成比
1. 20歳代	19	6.9%
2. 30歳代	24	8.7%
3. 40歳代	30	10.8%
4. 50歳代	55	19.9%
5. 60歳代	56	20.2%
6. 70歳代	50	18.1%
7. 80歳以上	43	15.5%
無回答	0	-
計	277	100.0%

問3. あなたの現在のお住まいの地区を教えてください

	回答数	構成比
1. 三倉	20	7.2%
2. 天方	17	6.2%
3. 森	100	36.2%
4. 一宮	29	10.5%
5. 園田	58	21.0%
6. 飯田	52	18.8%
無回答	1	-
計	277	100.0%

問4. あなたは、森町の医療体制（入院・救急機能、かかりつけ医機能など）の現状について、どのように感じていますか。

	回答数	構成比
1. とても安心	39	14.2%
2. どちらかといえば安心	104	38.0%
3. どちらとも言えない	65	23.7%
4. どちらかといえば不安	56	20.4%
5. とても不安	10	3.6%
無回答	3	-
計	277	100.0%

問5. 問4で「4. どちらかといえば不安」「5. 不安」と回答された方におたずねします。何に対して不安をお持ちですか。（3つ以内）

	回答数	構成比
1. 休日・夜間の救急医療	43	25.0%
2. 小児医療	5	2.9%
3. 災害医療	12	7.0%
4. 妊娠・出産から乳幼児までの周産期医療	19	11.0%
5. 心筋梗塞、脳卒中治療などの救命救急医療	37	21.5%
6. 生活習慣病の治療	4	2.3%
7. がん治療など入院や手術が必要な医療	31	18.0%
8. かぜや腹痛などの医療	2	1.2%
9. 往診や訪問診療	6	3.5%
10. 慢性疾患の入院医療	3	1.7%
11. 地域医療連携	8	4.7%
12. その他	2	1.2%
無回答	203	-
計	375	100.0%

問6. あなたは、医療機関を受診するとき、どのような理由で選びますか。（3つ以内）

	回答数	構成比
1. かかりつけ医	112	15.6%
2. きれいで快適な施設	29	4.0%
3. 近い	163	22.7%
4. 交通の便	49	6.8%
5. 医師の技術・能力が高い	91	12.7%
6. 診療などの待ち時間が短い	44	6.1%
7. 設備や機器が充実	51	7.1%
8. 評判が良い	60	8.4%
9. プライバシーへの配慮	6	0.8%
10. 診療科の充実	14	2.0%
11. 医師・看護師が患者の気持ちを理解してくれる	69	9.6%
12. 救急対応している	27	3.8%
13. その他	2	0.3%
無回答	3	-
計	720	100.0%

問7. あなたが医療機関にかかる回数（頻度）はどのくらいですか。

	回答数	構成比
1. 1年以上かかったことがない	19	7.7%
2. 1年に1回程度	46	18.7%
3. 半年に1回程度	69	28.0%
4. 1ヶ月に1回程度	91	37.0%
5. 2週間に1回程度	14	5.7%
6. 1週間に1回程度	7	2.8%
無回答	31	-
計	277	100.0%

問8. 医療機関を受診する場合の主な交通手段を一つだけ教えてください。

	回答数	構成比
1. 自家用車	192	77.7%
2. 家族が運転する自家用車	25	10.1%
3. バイク・自転車	13	5.3%
4. 徒歩	4	1.6%
5. バス（患者バス含む）	3	1.2%
6. タクシー	8	3.2%
7. その他	2	0.8%
無回答	30	-
計	277	100.0%

問9. あなたは「かかりつけ医」がいますか。

	回答数	構成比
1. いる（町内、町外の記入なし）	36	14.5%
	80	32.1%
	34	13.7%
2. いない	99	39.8%
無回答	28	-
計	277	100.0%

問10. あなたが、かかりつけ医を決めた条件、また今後 かかりつけ医を決めるための条件を教えてください。（3つ以内）

	回答数	構成比
1. どんな病気でも診療できる	99	17.7%
2. 病気により適切に医療機関を紹介してくれる	113	20.2%
3. 往診・訪問診療が出来る	13	2.3%
4. どんな事でも気軽に相談できる	99	17.7%
5. きめ細かく診療してくれる	63	11.3%
6. きれいで快適な施設	13	2.3%
7. 診療などの待ち時間が短い	36	6.4%
8. 医師・看護師が患者の気持ちを理解してくれる	68	12.2%
9. プライバシーへの配慮	8	1.4%
10. 受診しやすい診療時間（土日診療や夜間診療）	37	6.6%
11. その他	10	1.8%
無回答	46	-
計	605	100.0%

問11. 問9で「2. いない」と回答された方におたずねします。
あなたに かかりつけ医が いない理由を一つだけ教えてください。

	回答数	構成比
1. あまり病気ならないため医療機関を受診しない	40	39.2%
2. 症状に応じて受診する医療機関をその都度選ぶ	51	50.0%
3. 診療科が充実している病院に受診する	5	4.9%
4. その他	6	5.9%
無回答	175	-
計	277	100.0%

問12. あなたは、「家庭医」という言葉を聞いたことがありますか。

	回答数	構成比
1. ある	96	40.7%
2. ない	140	59.3%
無回答	41	-
計	277	100.0%

☆公立森町病院についておたずねします。（問13～17）

問13. あなたは、1年以内に公立森町病院を受診したことがありますか。

	回答数	構成比
1. ある	138	50.9%
2. ない	133	49.1%
無回答	6	-
計	277	100.0%

問14. 問13で「ある」と回答された方におたずねします。
受診した理由を教えてください（3つ以内）

	回答数	構成比
1. かかりつけ医	59	18.9%
2. きれいで快適な施設	7	2.2%
3. 近い	93	29.8%
4. 交通の便	23	7.4%
5. 医師の技術・能力が高い	15	4.8%
6. 診療などの待ち時間が短い	6	1.9%
7. 設備や機器が充実	30	9.6%
8. 評判が良い	2	0.6%
9. プライバシーへの配慮	2	0.6%
10. 診療科の充実	10	3.2%
11. 医師・看護師が患者の気持ちを理解してくれる	29	9.3%
12. 救急（時間外、土日曜）で来院	24	7.7%
13. 救急車で来院	2	0.6%
14. 紹介状をもらった	4	1.3%
15. その他	6	1.9%
無回答	139	-
計	451	100.0%

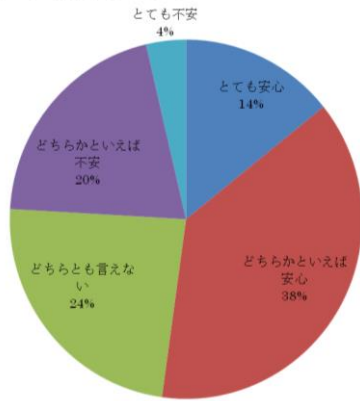
問15. 問13で「ある」と回答された方におたずねします。
当院の診療体制について、満足度を教えてください。

	回答数	構成比
1. 満足	35	26.5%
2. やや満足	32	24.2%
3. 普通	41	31.1%
4. やや不満	15	11.4%
5. 不満	8	6.1%
6. わからない	1	0.8%
無回答	145	-
計	277	100.0%

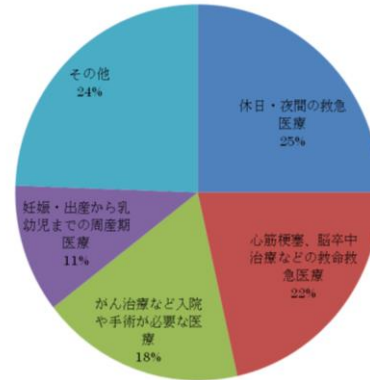
問16. 問15で「4. やや不満」「5. 不満」と回答された方におたずねします。
公立森町病院の満足できない点について教えてください。（3つ以内）

	回答数	構成比
1. 診療までの待ち時間長い	20	27.8%
2. 診療後、会計までの待ち時間が長い	7	9.7%
3. 実際に診療や説明を受けるのが短い	6	8.3%
4. 医師に自分の希望や質問しにくい雰囲気がある	11	15.3%
5. 治療方法に関する説明が十分でない	8	11.1%
6. 医師・看護師が患者の気持ちを考えていないように感じる	4	5.6%
7. 医師の技術・能力が低い	4	5.6%
8. 設備や機器が充実していない	2	2.8%
9. プライバシーへの配慮を感じられない	3	4.2%
10. その他	7	9.7%
無回答	241	-
計	313	100.0%

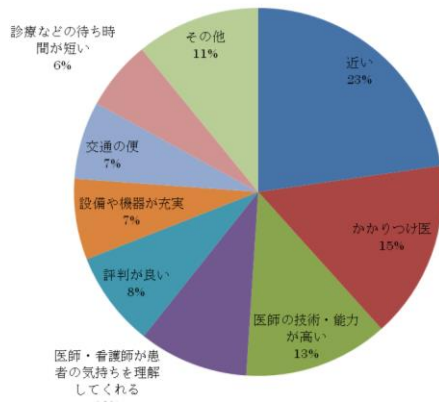
問4.森町の医療体制の現状



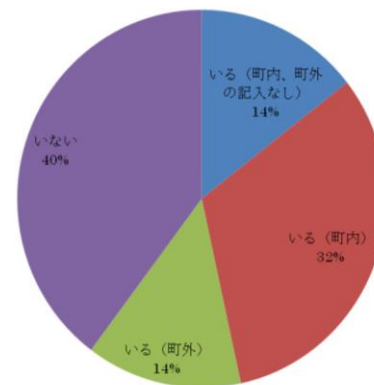
問5.何に対して不安ですか (問4で不安と回答した方)



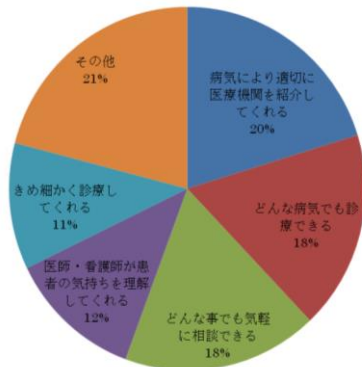
問6.医療機関を決める条件



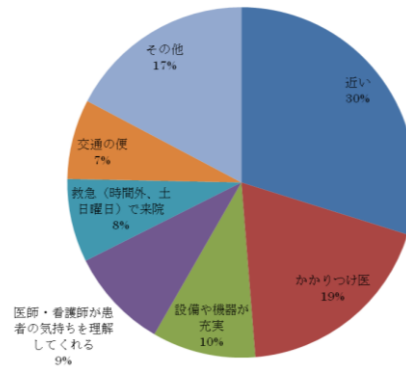
問9.「かかりつけ医」はいますか



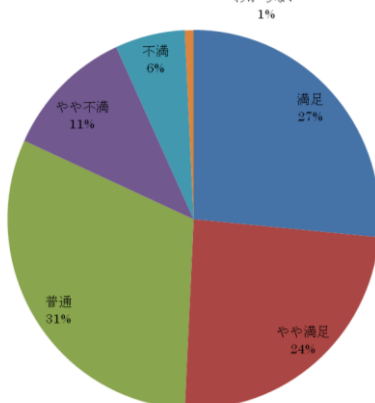
問10.「かかりつけ医」を決める条件



問14.森町病院を受診した理由



問15.受診して満足でしたか



問16.受診して満足できない点

